

同窓会報



鳥羽商船同窓会

〒517-8501
三重県鳥羽市池上町1番1号
TEL (0599)25-8045
FAX (0599)25-8128
携帯電話 090-7612-2979
振替口座番号 00850-6-846



紫匂う朝熊の高嶺
緑さやかに大空澄みて
情もすがし若人我等
かをる伝統輝く歴史
礎かたきこの学舎に
ああ攻玉の訓仰がむ

◆ 目 次 ◆

同窓会会長挨拶.....	2	支部だより.....	15
校長挨拶.....	3	クラス会.....	18
2015年度本部会務報告	4	会員の活動紹介.....	19
2016年度本部会務報告・計画	4	会員の投稿.....	20
2015年度会計報告	5	事務局だより.....	23
2016年度予算	6	編集後記.....	26
同窓会役員・理事.....	6	会員の移動など.....	27
同窓会の活動.....	7	死亡会員一覧.....	28
2016年度行事予定	9	新入会員.....	28
NPO法人 故郷の海を愛する会	10	住所変更.....	29
学校だより.....	12	寄付金・会費納入 一覧	29

同窓会会長挨拶

S42N 田中 三郎



歴史と伝統輝く鳥羽商船同窓会の皆さまお元気ですか？

世界的に先行きが不透明な状況に見舞われている昨今ですが、このような環境であればこそ、鳥羽で培った闊達な思考で確かな道を歩んでいきたいと思っています。

さて、私たち同窓にとって共通する一点は「鳥羽商船に学んだ」ということでもあります。

およそ15歳～20歳。一般的な勉強だけではなく人間としての基盤を構築するこの時期を鳥羽の学び舎で過ごした歳月は、その後の其々の人生航路の羅針盤となったことでしょう。

その羅針盤の一つに、校祖近藤真琴先生による攻玉の精神があります。

校歌にも「攻玉の教え学ばん」との一節もありますが、校祖である先生は天保2年に生まれ、文久3年(32歳)に四谷の鳥羽藩邸内自宅で数学・オランダ語・航海術などを教える蘭学塾を開き、その後明治8年(45歳)に

我が国初の商船学校たる航海測量習練所を設置し、更に明治14年(51歳)に故郷鳥羽の地に私財を投じ鳥羽商船分校を開設されました。

蘭学塾を攻玉塾とした先生の教えたる「攻玉」とは、詩経の「他山の石以て玉を攻(みが)くべし」から引用され、攻玉の「攻」とは「せめる」「おさめる」の意ではなく「みがく」の意であり、「攻玉」とは玉をみがくを転じ知徳をみがくと解されています。

明治14年以降連綿と続く私たち同窓は、先行き不透明な幕末の動乱期にありながらも、自ら身に着けた西洋の近代学問や技術を多くの人たちに教授し、福沢諭吉や新島襄らと並ぶ明治六代教育者と讃えられた先生の攻玉の教えを自分自身にあてはめながら価値ある日々を歩んでいきましょう。

尚、去る7月2日、鳥羽商船を筆頭に設立100年を越す長き歴史を有する全国商船系高専5校における商船教育存続を図るための運動を連携して行うことを目的とした「商船系高専5校同窓会長連絡会」が発足しました。連絡会は各同窓会の会長及び事務局長で構成され、どのような運動を連携するかは今後の状況に応じ都度検討するところとなりますが、同窓会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年度
同窓会理事会・総会決定
2017.6.4 日 午前10時～

場所 名鉄グランドホテル
(名古屋市中村区名駅1-2-4)

平成28年度
恒例の
海学祭

10/30 日 開催

今年も
OPEN!

長老庵
@onsenka!

校長挨拶

新田 保次



◇はじめに

校長就任二年目を迎えました。鈴鹿から鳥羽への通勤は時間がかかるものの、宇治山田、五十鈴川を過ぎ、朝熊を経て、池の浦へ向かう近鉄電車の車窓から見える緑豊かな山並みと青い空に海は、歴史の重みも感じさせつつ、心を豊かにしてくれるものがあります。そして、去年は商船高専ならではの経験もさせていただきました。それは、12月に横浜へ行き、全国の商船高専4年生の日本丸による乗船実習を見送ったことです。このときの様子を末尾の写真に載せていますが、学生たちは、「ごきげんよう!」を三回連呼し、ハワイに向けて元気よく出帆していきました。3ヶ月の実習を終え、日本に戻ってくるときには、一回りも二周りも大きくなって帰ってくると思うと、目頭が熱くなったものでした。日本の将来を託す、この若者に信頼と期待を寄せることができました。

◇最近の本校

今年も素晴らしい学生がたくさん入学してくれました。本科の商船学科44名、電子機械工学科45名、制御情報工学科45名、合計134名の新生です。専攻科では生産システム工学専攻の8名です。本科では、志願者も昨年より13名増加し、199名で競争率は1.7倍となり、15歳人口が減少する中での増加に、教職員のがんばりの賜物とありがたく感じています。

また、学生諸君も多方面にわたり活躍しています。プログラミング関連では、昨年度、第26回全国高等専門学校プログラミングコンテスト、第3回学生スマートフォンアプリコンテスト(情報処理学会)、Open Hack U KOSEN 2015(共同教育プロジェクト)、第4回気象文化大賞「高校・高専『気象観測機器コンテスト』」において数々の賞を獲得するとともに、今年度もマイクロソフト社主催Imagine Cup 2016の日本予選で勝ち残り、惜しくも世界大会への出場は逃しましたが、有名大学等に伍しての闘いで部門賞に選ばれました。体育系では、少林寺拳法部は今年もインターハイに出場しました。また、カッター部は水上バイクで漂流している人の救助にあたり、鳥羽海上保安部から表彰され、新聞に大きく報道されました。

なお、国際交流事業につきましても、協定校である「シンガポール・マリタイム・アカデミー(SMA)」の協力を得て、現地で研修を行いながら、異文化理解と英語によるコミュニケーション能力を養うプログラムを実施するなど、学生の国際交流活動が盛んになってきております。そして、SMAとは、この9月、私も参加し、協定の5年更新の調印を行う予定です。

◇高専を巡る動き

機構本部の理事として高専を巡る動向について情報を得る機会がありますが、その中で今後の高専のあり方について検討する上で重要だと思われることを述べたいと思います。

大きな課題は15歳人口の減少と財政難です。とくに後者は政府の政策により毎年高専への交付金が削られ深刻な事態になっており、各校、節約に節約を重ねている状況です。

このような状況下において、国内外からの評価の高い高専システム(5年本科が基本。2年の専攻科は+a)を、さらに発展させていくために、高度化に取り組んでいます。この柱の一つが、現在の5年一貫教育システムに加えて7年制のシステムを制度化することですが、残念ながら昨年度の文科省に調査研究協力者会議では、現状では困難との方針が打ち出されました。

ただ今までの高専の実学重視の人材育成の教育システムは高く評価され、本科5年制は維持しつつ、専攻科や大学編入学により、さらに一層高度な技術者育成の基盤づくりを行っている点も評価された内容となっています。本科での5年完結型人材育成と、さらに高度な学業の学びへと発展する人材育成を両輪として、高専の教育を考える内容となっている点は高く評価できます。

いずれにせよ厳しい状況下の中で高専が生き残るためには、入口・出口をしっかりとさせる必要があります。高専の魅力を上し、ポテンシャルのある学生を集め、優秀な人材に育て上げ、社会に、あるいは更なる高等教育機関へと送り出すことです。

◇同窓会へのお礼と期待

同窓会の皆様には、日頃より何かとお世話になっています。今年10月8、9日、伊勢市観光文化会館において、本校を主管として行います全国高専プログラミングコンテストにおいては、多額のご支援を頂くとともに、昨年、台風で被害を受けた100周年記念資料館の修理には何かとご尽力いただき、感謝申し上げます。お陰様で、記念館の修理に当たっては、機構本部から、ほぼ希望通りの予算を頂き現在、鋭意修理を進めています。

以上もちまして、日ごろのお礼方々、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



写真:日本丸、高専生を乗せてハワイへ。2015年12月横浜港にて

本部報告

2015年度本部会務報告

① 会議

- イ 理事会 2015年6月7日(日)母校視聴覚教室
☆出席理事36名(委任状含)
*近藤 真琴翁 慰霊祭 近藤翁記念碑前
- ロ 総会 2015年6月7日(日)母校視聴覚教室
☆出席会員数86名。
- ハ 副会長会・支部長会
・支部長会:2015年5月10日(日)名古屋サミットホテル
主議題 今年度運営方針について
2016年2月21日(土)ユニモール桜名駅店
主議題 高専商船学科定員削減問題について

② 会報発行

会報:2015年10月2日、会員3,900名に発送

③ 主要活動 2015年4月1日～2016年3月31日

- 06月10日 第45回戦没・殉職船員追悼式
- 6月～7月 商船学科5校合同進学ガイダンス開催
会場:広島、横浜、神戸
- 08月04日 会報発行準備
- 09月15日 台風18号により100周年記念館浸水の為
掃除、復旧
- 09月27日 商船学科卒業式
式の参列、並びに同窓会の事前説明及び
新規加入手続き。
- 10月02日 同窓会報発行 発送
- 10月31日 課外活動支援金授与式
- 11月01日 海学祭 開催
同窓会では本部テント、模擬店「長老庵」
近藤真琴展、伊勢の「中村コーヒー店」設置。
- 11月21日 第7回全国高専同窓会連絡会総会
- 03月13日 M、I科卒業式
式の参列、並びに同窓会の事前説明及び
新規加入手続き。

2016年度本部会務報告・計画

① 会議

- イ 理事会 2016年6月5日(日)東京
日本外国人特派員協会 ☆出席理事36名(委任状含)
- ロ 総会 2016年6月5日(日)東京
日本外国人特派員協会 ☆出席会員数84名。

理事会詳細は下記

理事会事項書

- 1.開会
- 2.会長挨拶
- 3.議事
 - ①平成27年度会務報告
 - ②平成27年度会計報告
 - ③平成27年度会計監査報告
 - ④平成28年度行事予定(案)
 - ⑤平成28年度予算(案)書式変更あり
 - ⑥支部報告
 - ⑦その他
- 4.閉会

今年度は6月5日東京有楽町駅前の日本外国人特派員協会に於いて開催されました。

理事会は36名(委任状含む)の出席の元、各議案が審議され活発な意見が出された後、承認されました。理事会に引き続き総会が開催され、理事会の決議事項が承認されました。

議案の会務報告、会計報告、会計監査報告行事計画予算等については、本会報の記事を参照ください。

② 会報発行

会報:2016年10月中旬に発行予定
(事務局、伊勢志摩支部会員の協力による発送作業)

③ 今後の主要活動

- ・商船学科及び工業系学科の卒業祝賀会の協賛。
- ・同窓会会報発行。
- ・海学祭への協賛 並びに 近藤真琴展開催。
- ・鳥羽の市民劇団による近藤真琴伝上演の協力。
- ・本校並びに校相近藤真琴翁の紹介活動。
- ・全国規模の体育大会出場学生及び学術コンテスト入賞学生に奨励金の贈呈。
- ・NPO法人故郷の海を愛する会への協力。

2015年度会計報告

2015年度会計報告は、2016年6月5日 東京有楽町駅前の日本外国特派員協会に於ける理事会、総会で承認されました。

損益計算書

自 平成27年4月1日～至 平成28年3月31日

収入の部 ※比較増減=決算金額-予算

科目	27年度予算	決算金額	比較増減
会費	3,250,000	3,344,870	94,870
寄付金収入	750,000	835,000	85,000
パナー広告収入	210,000	65,000	-145,000
雑収入	350,000	411,000	61,000
受取利息	5,403	5,759	356
収入小計	4,565,403	4,661,629	96,226
繰越金取崩し額	1,231,937	743,262	-488,675
合計	5,797,340	5,404,891	-392,449

支出の部

科目	27年度予算	決算金額	比較増減
負担金	570,000	666,864	96,864
総会費	960,000	833,980	-126,020
会報	860,000	856,271	-3,729
対外活動費	420,000	404,000	-16,000
支部活動費	700,000	700,000	0
慶弔費	30,000	2,462	-27,538
旅費交通費	627,000	642,000	15,000
事務消耗品費	285,000	301,208	16,208
会議費	40,000	40,368	368
会務運営費	292,000	185,800	-106,200
外部委託費	600,000	600,000	0
事務室備品償却	163,340	163,340	0
支部イベント等予備費	100,000	0	-100,000
同窓会創立90周年の歩み	150,000	0	-150,000
雑支出	0	8,598	8,598
支出合計	5,797,340	5,404,891	-392,449

- ★会費収入は前年度実績の約7%増加しました。
- ★寄付金は、会員その他の方75名有りました。
- ★雑収入では、名簿販売等で、6.1万円予算を上まわりました。
- ★支出においては、学生支援の報奨金7件の増加があったものの、総会参加者賦課金の減少等あり、対予算約39万円の減となりました。
- ★実質の資産は538千円の減となりました。

貸借対照表

自 平成27年4月1日～至 平成28年3月31日

資産の部 流動資産 ※比較増減=期末-期首

勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
[現金・預金]			
現金	0	10,000	10,000
普通預金	2,581,772	2,321,399	-260,373
定期預金	23,446,267	23,451,718	5,451
現金・預金合計	26,028,039	25,783,117	-244,922
[他流動資産]			
勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
未収金	130,000	0	-130,000
他資産合計	130,000	0	-130,000
流動資産合計	26,158,039	25,783,117	-374,922
有形固定資産			
勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
事務所備品	163,340	0	-163,340
有形固定資産計	163,340	0	-163,340
資産の部合計	26,321,379	25,783,117	-538,262

負債・資本の部 負債

勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
会費預り金	3,460,000	3,266,000	-194,000
終身会費預り金	1,996,000	2,388,000	392,000
その他預かり金	0	7,000	7,000
負債合計	5,456,000	5,661,000	205,000
余剰金			
勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
別途積立金	20,000,000	20,000,000	0
繰越利益	542,783	865,379	322,596
当期純損益金額	322,596	-743,262	-1,065,858
剰余金合計	20,865,379	20,122,117	-743,262
負債・純資産合計	26,321,379	25,783,117	-538,262

会計監査報告

平成27年度期初、期末の銀行等の残高証明の確認を行い、今年度収支に関しては領収書、各銀行などの出納記録と照合して監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

平成28年5月20日
 会計監査 松浦 肇
 会計監査 武部 二三男



2016年度予算（新書式）

自 平成28年4月1日～至 平成29年3月31日

この会計表は、従来の複式簿記の書式を簡略するために作成しました。入金出金（収入支出）の観点で作成しています。

【現金・預金】 ※期末残額=期首+収入-支出

Table with 5 columns: 勘定科目, 期首金額, 予算収入, 予算支出, 期末残額. Rows include 現金, 普通預金計, 定期預金計, 現金・預金合計, and 取崩予定額.

収入の部 ※増減比較=28年度予算-収入実績

Table with 4 columns: 科目, 収入実績, 28年度予算, 増減比較. Rows include 会費, 寄付金収入, パナー広告収入, 雑収入, 受取利息, 預かり金, and 収入合計.

支出の部

Table with 4 columns: 科目, 支出実績, 年度予算案, 増減比較. Rows include 負担金, 総会費, 会報・会員名簿, 対外活動費, 支部活動費, 慶弔費, 旅費交通費, 事務消耗品費, 会議費, 会務運営費, 外部委託費, 特別予算①, 特別予算②, 雑支出, and 支出合計.

- ★資金の取り崩しが、約134万円となる見込み。
★全国高専プロコン支援対応の為寄付予算を増額。
★パナー広告では2件の新規掲載を目標とした。
★特別予算は、
①全国プログラミングコンテストに本校が主管校の為の支援
②本校と校祖近藤真琴のPR活動費。
★2016年度予算で収入・支出実績の合計額が、2015年度会計報告の額とそれぞれ違います。
①会費では、今期の収入の27年度に該当する額を新書式に計上の為。
②雑収入では、総会参加費、祝儀等マイナスの支出計上を新書式では、雑収入に計上の為。以上が相違している主な理由です。

同窓会会費納入のお願い

円滑な同窓会運営にご協力ください。滞納の方は分割にてお取扱い致します。

2016年度 同窓会役員・理事

本部

Table listing members of the main office including 会長, 副会長, 相談役, 会計監査, 事務局長, 事務局, and 学校連絡.

Table listing honorary and special advisors: 名誉顧問 and 特別顧問.

は新任

支部

Table listing members of various branches: 東日本支部, 伊勢志摩支部, 中部支部, 関西支部, 四日市支部, and 西日本支部.

同窓会の活動

母校の発展と同窓生の懇親、並びに海事思想普及の為、同窓会が主催もしくは協力して以下の活動を行いました。今後とも同様の活動を続けてゆきたいと考えます。同窓会ホームページに関連記事がありますのでご覧ください。

2015年9月27日(日)商船学科 卒業式

今年は航海コース20名、機関コース13名、海事システム学2名の若人達が卒業し、船会社に10数名、陸上に10数名、進学が4名でほぼ全員の進路が決まり、希望に胸膨らまれて船出しました。式は新田校長、齊藤鳥羽市教育長、岩田仁全船協会長(S38E)、田中三郎同窓会長(S42N)の祝辞と激励の言葉に送られながら、卒業生を代表しNコースの松尾君が元気な力強い言葉で返礼されました。校歌斉唱がいつの頃からか(S60年頃)応援団スタイルに変化し、在校生、卒業生、教職員、OB会の皆が声を合わせて歌えなくなった場面は、例年の事ながら一抹のさびしさを感じますが最後の「ごきげんよう」のかけ声の後の投帽シーンは胸を打ちます。卒業式の後、潮騒会館で卒業祝賀パーティーが開かれ、多勢の参加者のもと和やかに懇談し、閉会致しました。



11月01日(日) 第50回 海学祭開催

学生達の研究室一般公開・模擬店の出店・海洋少年団(南勢・四日市)による手旗信号実演等も有り、多勢の来場者で賑わいました。私達同窓会と故郷の海を愛する会も玄関前で長老庵を開店し、同窓の江尻君が作った新米餅を材料に同窓の奥様方手作りのぜんざい・いそべ焼などの販売と中村コーヒーの本格コーヒーを販売しました。売り上げの中から同窓会に五万円余りの金額を寄付させて頂きました。又、百周年記念館で校祖近藤真琴展も開催し、近藤真琴翁の経歴と実績を紹介させて頂きました。近隣の同窓の皆様、来年の海学祭にはご家族連れでのご来場をお待ちしています。



10月02日(金) 同窓会報 発送

事務局理事と伊勢志摩支部の有志10名にて、3700通余りの封筒入れ作業を行いました。朝10時から夕方16時までかかり、無事郵送することができました。昨日・本日には皆様のお手元に届いている頃だと思います。



発送した会報ですが、毎年100通余りの住所不明の方がおり、こちらに戻って来ます。住所変更がありましたら、事務局までご連絡下さい。

10月31日(土) 課外活動支援金・報奨金授与

在校生への課外活動支援金と報奨金の授与式を開催致しました。三井伊勢志摩支部長をプレゼンターに課外活動支援金4件で十七万円、報奨金7件で十四万五千円を支援致しました。私達同窓会は母校在校生の益々の頑張りを期待し、応援します。



11月06日(金) 「鳥羽丸」の名古屋港寄港 (中部支部報告記事の抜粋)

名古屋港フレンドリーポート開催中、11月6日から10日の間に練習帆船「日本丸」が寄港した折に、本校練習船「鳥羽丸」が、11月6日から8日の間、名古屋港水族館南側に係留しました。7日、8日には一般公開が実施され、2日間で205名の方が訪船されました。鳥羽丸寄港中には、乗船されている本校教官、乗組員、学生に飲み物の差し入れを行い、名古屋港近辺の名古屋港管理組合、船舶代理店、港運事業者等の本校OBが訪船し、意見交換を行いました。この鳥羽丸寄港は毎年恒例となっており、来年の名古屋港寄港をお待ちしています。



2016年3月13日(日) 工業系学科卒業式

工業系(電子機械工学科24名、制御情報工学科37名)、専攻科(生産システム学専攻9名)が期待に胸膨らませ卒業されました。M科(電子機械工学)は進学5名、就職19名、I科(制御情報工学)は進学9名、就職28名、専攻科は進学1名、就職8名で100%の進路が決定しました。式は新田校長、鳥羽市木田市長、室同窓会副会長(田中会長代理)の祝辞の後、校長から卒業証書が手渡されました。

卒業式の後には祝賀パーティーが催され、恩師と卒業生、父兄の皆様の団欒と各所で記念撮影が行われていました。同窓会



伊勢志摩支部約10名もこれに参加し、同窓会への入会を歓迎すると共に、同窓会費の集金と連絡先住所の聞き取りを行いました。このパーティーの最後は、三井伊勢志摩支部長の万歳三唱で締めくくられました。

写真は、祝賀会での同窓会入会手続きの様子です。

04月05日(火) 母校入学式挙行される

期待に胸膨らませ、純情可憐な少年少女134名が入学しました。内訳は、商船学科(S)44名(県外26名)電子機械工学科(M)45名(県外10名)制御情報工学科(I)45名(県外2名)です。又、新寮生にS科34名、M科15名、I科5名の計54名が入寮されます。近年になり、入寮生の多さで、県北、県外からの入学生が増加しました。今年と同窓会伊勢志摩支部と在寮生の皆様と懇親会も企画しています。



04月14日(木) 全会員に総会案内発送

東京総会の案内と出欠ハガキを全会員に発送致しました。伊勢志摩支部の有志10名が、封筒入れ作業3814名分の作業を終えました。



毎回住所不明で返送される封筒が有ります。転居されました方は本部事務局までご連絡宜しくお願いします。

05月09日(月) 寮生との懇談会

同窓会事務局理事、伊勢志摩支部の9名のOBが母校暁寮の役員生徒17名、寮務主事の嶋岡先生を含め3名の教官方と初の懇談会を暁寮食堂で開催致しました。近年では最高の入寮者数で現在、暁寮には全校生徒の約3割の194名が在寮し、内、商船系が7割弱工業系が3割強となっています。互いの自己紹介から始まり、嶋岡先生の司会で、主に学生からの質問に私達が答える形式で進行了ました。事前打合せでは極力昔話はしない様にと打合せして

いましたが、学生達は昔の寮生活に興味があるらしく、つい昔の寮生活の思い出を次から次へと話してしまいました。学生から、寮生活のあるべき姿とは何かと問われ、OBの一人が「自由の中に規律がある生活」と答えていました。寮の役員達も皆が楽しい寮生活を過ごすには如何に有るべきか模索している様です。

当時の時代背景と現在は違いますが、寮生活の厳しさの中で青春時代を共に過ごし、生涯の友を得た事は何にも代え難い財産で有ります。在寮生の皆様が、今の寮生活を有意義に過ごされる事をお願いして終了致しました。今回の懇談会は、同窓会と学生達が面した初めてのイベントです。再度の開催をお願いしました。

OB出席者

S29N漆山・S42E溝井
S43E三井・S44E江崎
S48N山口・S50E西山
S51N畑・S51E下村
H16I中井



05月22日(日) 横浜港カッターレース報告 (東日本支部報告記事の抜粋)

「鳥羽商船 シニア艇 タイム3分06秒19」

「鳥羽商船 一般艇 タイム3分24秒69」

第33回横浜カッターレースは、多数のご参加をいただき無事終了しました。



<結果>

●シニア艇 レース3位着 タイム3分をオーバー
全体タイム6位。今年も入賞ならず!残念!

●一般艇 急遽結成メンバー 実力発揮できず、悔しいレースになりました。来年こそ!!

2016年06月05日(日)同窓会理事会総会開催

今年度 総会は、東京有楽町駅前の日本外国特派員協会に於いて開催されました。理事会は36名(委任状含む)の出席の元、各議案が審議され活発な意見が出された後、承認されました。総会懇親会は出席会員84名、来賓7名のご出席の元行われ、久しぶりの再会に会話が弾み、瞬く間に時間が過ぎ去りました。



**06月18日(土) 西日本支部総会報告
(西日本支部報告記事の抜粋)**

支部総会を下関の「海峡ビューしものせき」において総勢14名にて開催致しました。西日本支部会員の方、90名に案内を出しましたが、返信は56名でした。総会の冒頭、中野支部長より去る6月5日に東京にて開催されました本部総会での話、4月に開催された長崎帆船祭りの話をされ、又、田中会長からも総会での話をさせていただきました。その後、福岡元支部長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。



**07月23日(土) 国立高専(商船学科)
5校合同進学ガイダンス(神戸会場)
(関西支部報告記事の抜粋)**

5校合同進学ガイダンスは神戸港第一突堤に係留している銀河丸船上で開催された。これに桑嶋相談役が出席され、母校のブースに於いて手伝いして頂きました。



参加者は関係者を含め約60名でした。会場のサロンは満席で、相対的にガイダンスの参加者が徐々に増加傾向にあることと並んで受験者の数も増える傾向にあるとの話を伺いました。

今回の鳥羽商船のブースは圧倒的に他学校を離れているようでしたが、やはり一番の問題点は船上のサロンでのお話は聞く方も話す方も椅子と机の間隔が不便な配置であるために、折角に準備された会話の機会に多くの人が“waiting”になってしまい訪船者にとってはいまいちの印象だったと思います。(桑嶋氏記)

同窓会会員名簿 好評発売中



平成26年度版
送料込 3000円

ご希望の方は事務局にご連絡ください
個人情報の取扱いにはご注意ください。譲渡禁止です。

2016年度行事予定 (一部実施済み含む)

月 日	曜日	行事内容	関係者	備考
4月6日	月	入学式(本科SMI専攻科生産)		
5月7日	土	攻玉社同窓会総会 出席	会長・東日本支部	
5月12日	木	戦没・殉職船員追悼式	東日本支部	
6月5日	日	理事会・総会・懇親会	全同窓会会員	
7月から8月		国立高専 商船学科5校合同進学ガイダンス	東日本・西日本・関西支部	日本船主協会主催
7月2日	土	伊勢志摩サミット会場の賢島と英虞湾を船から見学	伊勢志摩支部・鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会
7月22日	木	鳥羽商船の練習船に乗って体験航海と、造船所見学	伊勢志摩支部・鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会
8月23日	火	名古屋港でコンテナヤードと大型フェリーの見学	伊勢志摩支部・鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会
9月25日	日	卒業式(N,E)・修了式(海事)	会長・地元支部役員・事務局	
9月末日		同窓会会報発行	事務局	
10月3日	月	入学式(専攻科 海事)		
10月30日	日	海学祭	伊勢志摩支部	近藤真琴展
12月中旬		鳥羽商船高専S科M科I科施設見学と講演会	伊勢志摩支部・鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会
2017年3月		鳥羽の市民劇団による近藤真琴伝上演	同窓会本部・伊勢志摩支部	鳥羽商船高専
3月12日	日	卒業式(M・I) 修了式(生産)	会長・地元支部役員・事務局	

2017年度行事予定

月 日	曜日	行事内容	関係者	備考
4月	月	入学式(本科SMI専攻科生産)		
6月4日	土	理事会・総会・懇親会 (於:名古屋)	全同窓会会員	懇親会: 中部支部

同窓会理事会総会の開催場所は今後も東日本、中部、関西、伊勢志摩の順で持ち回りいたします。

故郷の海を愛する会の活動

◇活動8年目：(応募者急増)

当会の活動は今年で8年目となりました。今年度は4回の活動を予定しており、その内の3回を当初計画以上の参加者を得て無事終了していますが、活動への応募が今までと比べ様変わりとなり、嬉しい悲鳴を上げました。昨年度から募集の範囲を三重県の県庁所在地である津市まで広げ三重県の中南勢地区の合計10市町としており、募集対象は小学生5・6年生と中学生1・2年生で合計24000人となっていました。今年になって何十人ものキャンセル待ちが出来るほど応募者が多くなったのは、①今年は募集開始を早め6月初めから開始しました。②集合場所を津市と鳥羽市の2か所に設けました。これらの理由で応募者が大きく増えたと考えています。

子供達の夏休みの計画を保護者は6月には始めており、従来7月の募集開始では遅かったのでしょう。又、津市近辺の子供たちは津市での集合が出来るようになり活動に参加し易くなったでしょう。会としてはとても嬉しい事であり、励みになります。

(将来の夢)

昨年从我々の活動に参加していた神奈川県川崎市の小学5年生の女の子が「海」と題して、活動がとっても楽しく貴重な体験をした、もっと海を知りたい、将来は航海士になりたい、との作文を作ってくれました。

会のブログにアップしていますので参照ください。

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>



毎年何度も活動を実施していても、このように具体的な情報を得られることは稀で、嬉しいことです。彼女のように我々の活動に参加して、世界に繋がる海を知り、船を知り、将来に夢を持つ子供たちが増えることを大いに期待しています。

(活動協力団体)

活動の輪が少しずつ広がっています。一昨年から「セイラビリティ伊勢」と「海洋少年団(南勢海洋少年団・四日市海洋少年団)」と協力しています。海洋少年団は昨年の海学祭で練習船「鳥羽丸」の体験航海出港を手旗信号で見送ってくれました。今年の我々の活動の際、カッター・カヌーの提供、人材提供などの協力してくれました。

四日市海洋少年団の団員で母校に入学している人がいます。今までも海洋少年団の活動を通して団員が海に親しみ、海を知り、海に働くようになっていきます。我々の活動目的と共通するところが多く、協力してお互いの活動を盛り上げてゆきたいと考えています。

◇活動の報告：

活動報告については、同窓会HP、日本財団の提供するCANPANブログでも見て頂けますが、インターネットを使われない方もおられると思いますので、昨年度会報発行以降の未報告イベントから紹介させていただきます。

2015年9月24日

「水産研究所の「あさま」に乗って、海洋環境を学ぶ」

三重県水産研究所の見学者規定に沿うように参加者を集め、36名の参加となりました。研究所内では、伊勢エビの幼生を見学、衛星を使って海流や海水温度を調査・公表している様子を見学、更にはアワビや真珠を作るアコヤ貝の養殖について資料を見ながら説明を受けました。調査船「あさま」では船の設備の説明とともに、海の水産資源の調査、海洋環境調査などをどのように行っているか見せて頂きました。

午後は南伊勢町の下津浦で南勢海洋少年団の協力を得て、4班に分かれ、カッター・カヌー・手旗・結索体験を行いました。



2015年11月1日

「海学祭に参加し、郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう」

練習船「鳥羽丸」の体験乗船出港前に南勢海洋少年団と四日市海洋少年団による手旗信号実演がされました。本会の要請に応じてくれたもので、初めての実施となりました。「ハブアナイスボヤジ、ゴアンコウライノル」と少年団が鳥羽丸に向け信号を送ると、船からは「アリガトウ」と返事がありました。体験乗船する為に集まった多くの人々は興味津々でその様子を見ていました。



2015年12月16日

「もうすぐクリスマス、学んで遊ぼう。商船学校の歴史と船と海の話」

小中学生38名の参加を得て、実施されました。

恒例の講演は「女性航海士の話」「マリンエンジニアの話」「コンピューターの新しい楽しみ方」でした。

体験は「操船シミュレータの体験」横浜港に入港する練習船

鳥羽丸という想定で、子供たちが交代で操船しました。視界不良となったり、荒天となったり、夜間航行もありました。子供たちは舵を取るのが精一杯で船の動きまでつかめないようでした。

「ディーゼルエンジンの起動と停止の体験」子供たちがエンジンの起動準備、起動、出力調整、エンジン停止などの体験をしました。大きな音に驚いていたようです。

「賞を取ったアプリやロボットの操作体験」大会で賞を取った「すなケッチ」等のアプリや輪投をするロボットの操作体験をしました。



事業名「世界に繋がる海 IN 2016」

2016年7月2日

「伊勢志摩サミット会場の賢島と英虞湾の見学」

最終的に74名の小中学生の参加となりました。午前中は英虞湾クルーズを楽しみました。途中、伊勢志摩サミットの会場となった賢島のホテルも眺めました。真珠の加工工場も見学しました。午後は、南勢海洋少年団と四日市海洋少年団の協力を得て、カッター、カヌー、手旗信号、ロープの結び方などの体験活動をしました。



2016年7月22日

「鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学」

思った以上のキャンセルがあり、当日集合したのは52名となりました。

JMU津造船所では造船所の概要をビデオで学び、重い鉄が何故浮くのか、建造中のLNG船のLNGとは何かなど、説明して頂きました。用意された鉄のピースを持ち上げ、その重さを体感しました。その後、バス2台に分乗し、造船所の構内を巡り、船の建造工程を見学しました。建造ドックではバスから下車し、建造途中のLNG船をまじかに見ました。大きすぎてびっくりしたようです。午後は鳥羽商船高専の練習船に乗り、伊勢湾を約3時間の体験航海となりました。初め進路を東に取り、伊勢湾を航行する大型船を近くで見ようとしたのですが、残念ながら大型船に遭遇せず、その後、鳥羽に向かいました。その間、船内見学や結索などの体験をしました。



2016年8月23日

「名古屋港でコンテナヤードと大型フェリーの見学」

最終的に、参加者は110名となりました。

あいにく、台風の影響で接岸しているはずの2隻のコンテナ船が不在でした。その為に荷役も行われておらず、誠に残念でしたが、構内には数多くのコンテナが置かれており、遠隔操作でのコンテナの移動の様子を見ることが出来ました。屋上での見学の際はボランティア参加の水先案内人がコンテナ船について説明してくれました。

その後、名古屋港のフェリーターミナルでは接岸中の太平洋フェリーの「いしかり」に乗船して、おいしい昼食を取ったのち、3組に分かれ船橋や客室など、船内見学をしました。本船の進水式の様子を記録したビデオも観させてもらいました。船長への質問時間もありました。



◇終わりに：

今年度はあと1回のイベントを計画しています。

第4回イベント「もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話(12月)」別途、海学祭で「近藤真琴展」を開催し、来年の3月には鳥羽の市民団体が上演する劇「郷土の偉人 近藤真琴」への協力活動を行います。毎年活動に関して、同窓生の協力に感謝しています。今年は名古屋港での活動に際し、水先案内人、名古屋支部の同窓生に多大なる協力を得て実施が出来ました。

(お願い)

応募者が多くなり、参加者集めには悩まなくて良くなりましたが、多くの参加者となり、その活動資金集めと、ボランティア集めが懸案事項です。資金的には鳥羽商船同窓会、日本海事センター、全日本海員組合、日本中小型造船工業会、明るい社会づくりの会などから助成を得ていますが、十分ではありません。多くの子供達にもっと世界に繋がる海や船を知ってもらう活動を続け、将来のある多くの子供たちが母校を目指すように活動を続けたいので、同窓生の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

学校だより

平成27年9月～平成28年8月

◎年間行事（暦順に掲載）

シンガポールSMA学生が来校

9月11日に「2015年度鳥羽丸トレーニング」の企画で、国際交流協定を結んでいるSMA(Singapore Maritime Academy)の学生13名と教員1名が来校し、歓迎夕食会を開催しました。一行は、本校の教職員やサポート学生らとなごやかなひとときを過ごしました。SMAの学生は、9月11日から17日の間、本校学生と交流しながら練習船鳥羽丸の実習やフィールドワークを行いました。



第44回商船学科卒業式 第8回専攻科（海事システム学専攻）修了式を挙

9月27日、第44回商船学科卒業証書授与式並びに第8回専攻科（海事システム学専攻）修了証書授与式を挙りました。式では、新田校長から商船学科卒業生33名に卒業証書、専攻科（海事システム学専攻）修了生2名に修了証書が手渡された後、「本校で培ってきた創造力、実践力を実社会でも存分に発揮できるよう努めてください。」と式辞が述べられました。



式の最後に、白い制服姿の卒業生全員が一列に並び、在校生に向かって「ごきげんよう」と挨拶し、帽子を宙高く投げる伝統の別れのパフォーマンスを行い、晴れ晴れとした姿で学び舎から巣立っていきました。

平成27年度専攻科（海事システム学専攻）入学式

平成27年度専攻科（海事システム学専攻）3名を迎える入学式が10月1日に挙行されました。新田校長から「これからの学校生活において、一層の知的包容力の向上を期待します。」と祝辞が述べられた後、新入生代表から「グローバルな視点で状況を正しく認識し、問題を解決できるリーダーシップを備えた立派な海事従事者となれるよう、精一杯取り組んでいきます。」と力強い挨拶がありました。

平成27年度 電子機械工学科 制御情報工学科卒業式並びに 生産システム工学専攻修了式を挙

平成28年3月13日(日)、平成27年度電子機械工学科・制御情報工学科卒業証書授与式並びに生産システム工学専攻修了証書授与式を挙りました。

新田校長から電子機械工学科24名、制御情報工学科37名へ卒業証書が、専攻科生産システム工学専攻9名へ修了証書が手渡されました。新田校長は卒業生らに対し、目的・目標を達成するために努力する「プロセス」を大切に、精進を重ね、周囲の期待に応えてほしい、と祝辞を述べられました。式の最後には校歌斉唱が行われ、卒業生・修了生を祝福しました。卒業生・修了生は、鳥羽商船高専での思い出を胸に、晴れやかな姿で本校を巣立っていきました。



平成28年度本科並びに 専攻科（生産システム学専攻）入学式を挙

麗らかな春の日差しの下、4月5日(火)本校第2体育館において平成28年度本科並びに専攻科の入学式を挙行いたしました。本科生134人、専攻科生8人の計142人が入学いたしました。



◎各種コンテスト

スマートフォンアプリコンテストで最優秀賞、優秀賞

スマートフォンの普及と、次々と登場する新しいアプリケーションの新たな可能性を見いだすため、スマートフォン向けアプリケーションのコンテストで



ある「第3回学生スマートフォンアプリコンテスト」が、情報処理学会 CDS研究会により、10月1日から2日にかけて開催されました。制御情報工学科4年生のチームが作ったアプリ『SANAVI』が最優秀賞、同3年生の『ちゃんこRING』が優秀賞を受賞しました。

どちらのチームもプレゼンテーションとアプリの完成度が高く評価され、今回の受賞となりました。

高専プロコンで自由部門特別賞・企業賞を受賞

10月11日と12日に長野市のホクト文化ホールで開催された第26回全国高専プロコンの自由部門において、制御情報工学科の「素敵な劇しまSHOW」



チームが、自由部門の特別賞(3位相当)を受賞しました。富士通株式会社様から企業賞もいただきました。競技部門においては、3年生以下の若いチームで挑戦し、準決勝に進出しました。次年度は、鳥羽商船が主幹校となり伊勢市観光文化会館で開催いたします。皆様のご支援をお願いします。

Open Hack U 2015 で最優秀賞などを受賞

平成27年11月7日にOpen Hack U 2015が開催されました。Open Hack U とは、アイデアを元に制限時間内でウェブサービスやアプリのプロトタイプを開発させよう、という学生/生徒を対象としたイベントです。

本校からは4チームが出場し、最優秀賞・Y!mobile賞を「Tinker」が、ヤフオク!賞を「スマキ!」が受賞しました。



第4回 気象文化大賞「高校・高専 気象観測機器コンテスト」優秀賞・特別賞 受賞

平成27年12月20日、従来の発想にとらわれない気象観測機器を開発し、楽しみながら「気象文化の創造」を目指すコンテストとして「高校・高専 気象観測機器コンテスト」が一般財団法人WNI気象文化創造センターにより開催され、制御情報工学科4年生と2年生から構成される2チームが、優秀賞と特別賞を受賞しました。

生産技術コンテストで2連覇

平成27年12月25日から26日に品川で行われた、オムロン・高専機構共同教育プロジェクト「平成27年度生産技術コンテスト」の成果発表会に本校の専攻科1年生3名からなるチームが参加しました。(中略)本校チームは審査の結果、最高得点で昨年に続き優勝となり、賞品のスマートウォッチをいただきました。



Microsoft ImagineCup日本大会に2チーム出場

4月23日(土)に日本マイクロソフト株式会社にて開催されたMicrosoft ImagineCup日本大会に鳥羽商船高専から2チームが出場しました。

ワールドシチズンシップ部門で「素敵な劇しまSHOW(高専プロコン特別賞)」と「SaNaVi(学生スマホアプリコン最優秀賞)」が発表した結果、「SaNaVi」が部門賞を獲得しました。

本校学生が英語スピーチコンテストで優秀賞を受賞

8月6日に三重県営サンアリーナで開催された英語スピーチコンテストで、商船学科2年生の見代健君が優秀賞を受賞しました。この



英語スピーチコンテストは、電気製品などの安全性を認証する「ULジャパン」が開いており、今回で10回目の開催となります。今回のテーマは「安心・安全な社会について」であり、見代君は「All Hands on Deck to Reduce Accidents」という内容でスピーチしました。

平成28年度生産技術コンテストで準優勝

8月22～23日にオムロン株式会社 東京事業所で行われた、オムロン・高専機構共同教育プロジェクト「平成28年度生産技術コンテスト」の成果発表会に鳥羽商船の専攻科1年生3名からなるチームが参加しました。(中略)

3連覇を目指す鳥羽商船チームは、自由課題としてペットボトルへの水の充填とキャップ締めを行い好評でしたが、規定課題で失敗があり惜しくも準優勝となりました。

◎注目クラブ活動

少林寺拳法三重県大会で最優秀賞を受賞

みえスポーツフェスティバル2015(少林寺拳法)兼東日本大震災復興支援 少林寺拳法三重県大会が平成27年10月25日にさんぎんアリーナで開催され、本校からも少林寺拳法部員16名が参加しました。その中で、女子級拳士組演武の部に出場した商船学科航海コース3年深田観音さんと、同学科機関コース3年大塚美紗さんの組が最優秀賞を受賞しました。



◎地域活動・地域貢献

名古屋港で練習船「鳥羽丸」の一般公開と帆船「日本丸」のセイルドリル見学を実施

航海訓練所の大型帆船「日本丸」の名古屋港寄港に合わせ、平成27年11月7日から8日に本校練習船「鳥羽丸」の一般公開を行いました。また、7日には「日本丸」のセイルドリル(帆を張る作業)見学航海を実施しました。途中天気が崩れ始め、最終日には雨模様となりましたが、一般公開では205名の来場がありました。セイルドリルにつきましては、一般募集の見学者42名が「鳥羽丸」にて洋上から、中学生10名が「日本丸」船上から見学をしていただきました。今回、本校の学生16名(商船学科3、5年生および専攻科(海事)1年生)が運営に参加しました。



鳥羽商船高専カッター部 人命救助で表彰

鳥羽商船高専カッター部が人命救助をしたことにより、鳥羽海上保安部から表彰を受けました。これは、平成28年6月26日16時ころ、普段活動をしている鳥羽市堅神町の海上において、カッターの練習中に、故障により沈みかけ漂流していた水上バイクの男女3人を発見し、カッター部員ら15人が救助した功勞によるものです。平成28年7月29日に鳥羽海上保安部で表彰式があり、カッター部から代表者5名が出席しました。鳥羽海上保安部 榎本雄太郎長から表彰状と楯が贈呈され、「大変勇敢で立派な行為である。今回のことは大きな社会貢献であるので、これを機に、今後も社会に尽くせる人になっていってもらいたい」と労いの言葉と力強いエールを受けました。



◎教職員人事

採用

総務課施設係	宮崎 政志
総務課企画・地域連携係	東 りさ
学生課教務係	野間 己由
テクノセンター	島田 周作
	三重野 崇亮

転入

一般教育科	教授	山崎 賢二
一般教育科	准教授	西川 雅堂
事務部長		菅野 敬也
総務課総務係長		井上 暢浩
総務課人事労務係		廣田 真理子
学生課長		梅村 智文
学生課教務係長		前田 剛

◎同窓生の本校教職員

齋心 俊憲(H1N)	鳥羽丸船長
大野 伸良(S56E)	鳥羽丸機関長
山野 武彦(H10E)	鳥羽丸一等機関士
小島 知恵(H14N)	商船学科准教授
出江 幸重(H3M)	制御情報工学科教授
江崎 修央(H4M)	制御情報工学科教授
中井 一文(H16I)	制御情報工学科助教
竹内 晃輔(H7I)	総務課施設係 係長
宮崎 政志(H8M)	総務課施設係
吉岡 裕也(H16E)	テクノセンター技術職員
濱口 沙織(H17I)	テクノセンター技術職員
三重野 崇亮(H23I)	テクノセンター技術職員
金子 将也(H22E)	鳥羽丸技術職員
秋山 武彦(H20N)	鳥羽丸技術職員

◎退職の同窓職員

松井 茂春(S50N) 鳥羽丸船長
お疲れ様でした。

支部だより

東日本支部 支部長 S43N 水野 正治

短い間に3つも4つも台風が来る最近の異常な気象状況ですが、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。さて東日本支部の主な活動状況を報告いたします。

◇支部総会懇親会

昨年10月24日、東京湾クルーズレストランシップ「ヴァンテアン」で東日本支部総会懇親会を開催いたしました。前回に続いての土曜日のランチクルーズ(12時出港、14時帰着)でした。出席者は、会員31名、同伴者12名、来賓4名の計47名で、シニアジャズバンドの演奏を聞きながらコーラスからいつもの新旧校歌の合唱まで賑やかに東京湾のクルーズを楽しみました。

[出席会員:敬称略]

S28E増田、S33N櫛田、S35E菱田、S38E岩田、S39E可児、S41E飯島、S42N田中、S42N濱田、S42N三原、S42E丹、S43N梅島、S43N水野、S44E小木曾、S48N大橋、S51N稲益、S51E岩見、S51E上村、S51E高橋、S52E星野、S52E村山、S53E竹田、S54N櫻井、S54E植松、S59N石井、S60N相田、S63E木瀬、S63E長谷、H01N小脇、H01N平賀、H08N富山、H22I西岡

◇日本丸遠洋航海出港

同12月12日には日本丸の遠洋航海出港を見送り鳥羽商船実習生への激励品を差し入れました。今回は新港埠頭5号岸壁からの出港となり、風はありましたが好天で一般の方も多く賑やかな見送りとなりました。

◇新年会

1月23日、ナビオス横浜にて新年会を兼ねて役員会を開催しました。この時の議題の中で3月に親睦旅行会が計画されましたが、私の体調不良もあり実行できず関係者にご迷惑をおかけしてしまいました。誠に申し訳ございませんでした。

◇攻玉社同窓会総会

5月7日、芝公園のメルパルクにて攻玉社同窓会総会が開催され、田中会長と私で出席いたしました。昨年同様百名近い出席者で賑やかな会でしたが、よく見ると出席者の8割を超える方が我々以上の年齢の方で驚かされました。また当方との窓口となりお世話になった瀧口事務局長が今回で交代され、後任には田村保文様が就かれました。

◇日本戦没・殉職船員追悼式

5月12日、第45回日本戦没・殉職船員追悼式が横須賀市観音崎公園「戦没船員の碑」にて開催され、増田さんと私の2名で出席いたしました。

◇横浜港カッターレース

5月22日、第33回横浜港カッターレースに参加いたしました。思う様に人が集められず厳しい状況でしたが、S51N菅原さんのリーダーシップと仲間の方の協力もあり、また海員組合のS61E田中さん達の応援も得てなんとか昨年に続き一般とシニアで2艇の参加を果たすことができました。タイムは一般3分24秒、シニア3分6秒でしたが、詳細は同窓会ホームページをご参照下さい。来年も是非若手の方の参加をお願いいたします。

◇本部総会懇親会

6月5日、平成28年度本部総会懇親会が有楽町の日本外国特派員協会にて開催されました。東日本支部が担当支部でもあり昨年からの準備を進めてきました。予定していたシニアバンドの窓口の方が亡くなり、またボトルシップの展示出品をお願いしていたS30N長谷川尚美さんが直前に突然亡くなられ悲しい想いもしましたが、支部役員をはじめ本部や関係の皆様のご協力を得て、会員84名、来賓7名、計93名のご出席を戴き盛会裏に終了することができました。改めて関係の皆様にご挨拶申し上げます。ありがとうございました。

◇合同進学ガイダンス

7月18日、横浜ナビオスにて合同進学ガイダンスが開催されました。例年同様に夫々地元の教育委員会や中学校に働きかけ少しでも興味を持って戴けるよう依頼しました。当日は岩田さん、上山さんと私で参加しました。鳥羽ブースでは熱心に説明を聞いている方があり、この中から少しでも多くの受験生が集まる事を祈念しています。

中部支部 支部長 S52E 加塚 伸吾

平成27年度に引き続き、支部長を務め、本年度が支部長、最終年度とし、次の世代の方に交代することにしています。

平成25年度、役員改選による支部長の就任時には、同窓会支部活動の活性化を目指し、意気込んだものの、なかなか成果をあげられなかったこと残念です。その中で、まずは平成27年度の中部支部の活動報告させていただきます。

平成27年5月22日(金)支部総会を開催し、毎年出席いただいている大先輩の右高氏(S19E卒)始め、平成卒業の若手5名含め33名、本部からは江崎氏が出席して交流を深めることができました。名古屋港に入港する独立行政法人航海訓練所の練習船に本校生徒が乗船している場合に、毎回、飲み物の差し入れを行っており、8月に「青雲丸」、11月に「日本丸」、1月には「銀河丸」が入港したおり、飲み物を差し入れしました。

なお、帆船の入港は、毎年11月の名古屋港の開港記念として開催する名古屋港開港フレンドポート行事における海事思想普及の一環として名古屋港が誘致しているもので、停泊中には一般公開、セイルドリルを行っており、例年、多くの県民、市民の方が来港され賑わっています。

名古屋港の海事関係者における商船大同窓会の「海洋会」、海上保安大学校同窓会の「若葉会」、商船学校出身の「全日本船舶職員協会」(以下、全船協という。)による三者合同の交流懇親会が昨年に引き続き、本年2月に開催され、全船協から会長の岩田仁氏(S38E卒)が出席、来賓挨拶をいただきました。

今後とも支部活動の一環ととらえ、地元海事関係者との意見交換を行う場として参加していく予定です。

次に平成28年度となり、5月27日(金)名古屋市内のホテルで、中部支部総会を開催し、31名、本部から江崎氏に出席していただき、先輩、後輩とらわれず、肩振りの場として、意見交換、交流を深めることができ、最後に校歌斉唱、散会し、一部の方は二次会の場へと繰り出しました。

その他として、平成26年度迄に長年に亘って年2回程、通算35回開催していた名鳥会(旧同窓会名古屋支部別称)ゴルフコンペは幹事都合により平成27年度、一時休止していましたが、本年度、新たな幹事の復活により、春の部として、5月22日に開催しました。当日は、3組、11名の参加でわきあいあいと、普段のゴルフの腕前を競いました。このコンペも枠組みを抜け、多くの方々の参加により継続して行っていききたいと思っています。

また、8月23日には、「故郷の海を愛する会」の見学者110名が名古屋港に来港し、北米・欧州航路の基幹航路中心に貨物を取り扱っており、日本初の自動化ターミナルの「飛鳥南側ターミナル」、名古屋一仙台一苦小牧間を定期運航している「太平洋フェリー」のフェリー「いしかり」を見学しました。地元から支部役員2名、Pilot3名、フェリー関係者2名が参加しました。

四日市支部 支部長 S43E 鈴木 敏行

盛夏の折り、当地では極端に降雨が少なく、家庭菜園も水やりを怠れば、すぐに枯れてしまう昨今ですが、同窓皆様には酷暑を吹き飛ばし益々のご健勝をお祈りいたします。

当支部は同窓会員数最大の伊勢志摩支部と中規模の名古屋支部に挟まれた会員総数350名程度の小さな支部で、その活動も活発とは言い難い現状です。同窓会活動は多くのメンバー(同窓)が在籍する四日市港管理組合および港湾関連会社のメンバーが主体となって運営されており、本年度最近の活動状況を報告致します。

2016.03.04 支部役員会 支部役員13名出席

2016.06.05 本部総会 鈴木支部長・西井理事出席

2016.07.09 支部総会 支部会員、22名(出席者は下記参照)

2016.08.06 四日市祭り、練習船「鳥羽丸」入港・差し入れ

2016.08.07 「鳥羽丸」一般公開およびカッターレース

7月9日の支部総会について、久しぶりに顔を合わせるメンバーであり、和気あいあいと杯を交し、親睦を図る有意義な時間が過ごせました。一方、問題点として毎年出席されるメンバーがほぼ固定化しており、また商船系が殆どで工業系や若いメンバーの出席が極端に少ないことに苦慮しております。盛会とする良い知恵があればアドバイス願います。

なお来年(2017年)6月の本部総会は名古屋での開催が決定しており、当支部が一番近い隣接支部でもあり、多数の参加をお願い致します。

【支部総会出席者(敬称略)】

石垣(S37N)、中澤(S37N)、山田(S37E)、山村(S39N)、鈴木敏行(S43E)、山本晴久(S50E)、山本正拾(S50E)、高橋(S53E)、室(S55N)、田中(S56N)、谷水(S56N)、加藤(S57E)、畑(S57E)、西村譲治(S59E)、井田(S60N)、西井(S61E)、待井(H2N)、伊藤(H4E)、相良(H6N)、西村崇(H6I)、岡山(H11E)、犬飼(H13N)

伊勢志摩支部 支部長 S43E 三井 健次

昨年10月伊勢志摩支部同窓の皆さんへ、お願いとお知らせとして同窓会事務局作業のボランティア参加をお願いしました。定年退職をされた方、故郷に戻りあの青春時代を懐かしく思っておられる同窓生の方々、同窓の絆を深めてみませんか?是非とも事務局にご連絡ください。

伊勢志摩支部の新たな取り組みとして、同窓会開催奨励金(伊勢志摩支部限定)支給制度を昨年より始めました。鳥羽に帰り同窓会を開いてください。下記条件にて同窓会(同期)を開催した場合「同窓会開催奨励金」を支給します。

- ① 同期会開催奨励金は ¥20,000とする。
年間同窓会HP投稿順に10組迄とする。
- ② 申請者は、伊勢志摩支部同窓会員に限る。
- ③ 同窓会出席者は同期生であれば学科及び所属支部は問わない。
- ④ 伊勢志摩支部地域内で開催し10人以上集まらなければ成立しない。
- ⑤ 5年間で申請は同期で1回だけとする。
- ⑥ 同窓会開催後、1週間以内に同窓会HPに写真入りで投稿しなければならない。

以上の条件で伊勢志摩支部長と会計が承認した場合、申請者に支給します。同窓会開催奨励金の趣旨は、同窓会を開催して同級生の絆を深め、同窓会の団結を高めていききたいと思ひます。そして、同窓会費を皆で納め、同窓会の維持と母校発展に繋げていききたいと思ひます。特に若い工業系の卒業生は、是非同窓会を開催してほしいと思ひます。

◇第50回海学祭での活動(平成27年11月1日)

海学祭の名店となった長老庵を開店し、同窓の江尻君が作った新米餅を材料にぜんざい・いそべ焼などの販売・伊勢の有名ブランド中村珈房の本格コーヒーを販売しました。(因みに今年の賢島サミットではファーストレディーにコーヒーを提供しました)百周年記念館では校祖近藤真琴展も開催し、近藤真琴翁の経歴と実績を紹介させて頂きました。今後とも母校・NPO法人故郷の海を愛する会・また目的を同じとする団体とも連携し、近藤真琴翁の業績を広める活動に力を入れ支援していきたい。

◇新年会(平成28年1月30日)

伊勢志摩支部・故郷の海を愛する会・セイラビリティ伊勢と合同新年会を開催しました。総勢29名の盛大な宴会となり、楽しい時間を過ごしました。(特別会員広耕太郎氏も参加)最後の締めは漆山大先輩の挨拶でした。

◇寮生との懇談会(平成28年5月9日)

同窓会事務局理事、伊勢志摩支部の9名のOBが母校 暁寮 役員生徒17名、寮務主事と教官方の初の懇談会を暁寮食堂で開催致しました。

和気あいあいとした雰囲気の中で懇談会は終了しました。このような懇談会を持つことが将来の同窓会に繋がっていくものと思ひます。

関西支部 支部長 S39N 籠田 弘之

同窓会報の原稿を書いている今は私の在住する神戸においても例年同様に猛暑が続いています。同窓会員の皆様、如何お過ごしですか。同窓会報を配布するころは気持ち良い秋風が吹いている頃かと思えます。昨年の同窓会報後の関西支部活動を下記まとめました。

1. 理事・幹事会開催

9月に理事・幹事会を開き、平成27年度支部総会に関し、場所及び日時について検討した結果、会場は神戸楠公会館で12月13日(日)11:30総会、12:00懇親会となり、案内状は開催日の1ヶ月前に発送することで確認しました。

2. 平成27年度関西支部総会

支部総会・懇親会は予定通り12月13日に開催し、出席者はS17年N卒の同窓会員をトップにH12年N卒と年代層も幅広く参加してもらい、その数は47名と多数になりました。支部総会終了後、懇親会に移り、S19/12年N卒 鷲見氏に乾杯の音頭を取って頂き、その後歓談を楽しんで貰った。後半には校歌、寮歌など先輩後輩の壁も無く歌い、盛り上がり、最後の締めをS17年度N卒 松沢さんに万歳三唱をして頂き、28年度支部総会での再会を期して、懇親会は終了しました。

3. 理事・幹事会開催

平成28年度理事会が6月5日開催されることから提案、要望事項、及び支部報告の内容について検討しました。

4. 本部総会・懇親会

東日本支部幹事の本部総会、理事会及び懇親会に関西支部から理事1名と会員4名が出席しました。

5. 国立高専(商船学科)5校合同進学ガイダンスに参加

7月23日(土)予定通りに神戸港に接岸中の練習船“銀河丸”船上にて13時より開会し、17時20分に終了しました。参加者は関係者を含め約60名と昨年に比べ多く、会場は略満席でした。関西支部からは1名参加し、母校ブースに於いて手伝いをした。相対的にガイダンスの参加者が徐々に増加傾向にあること、受験生が増える傾向にあるとの話を伺い、また同窓会の皆様の努力が実りつつあるのではとの話をも伺い大変嬉しいことと思いました。

今回の鳥羽商船のブースは圧倒的に他学校を離し、多くの参加者が集まり先生方の話を熱心に聴いていた。

6. 平成28年度支部総会

11月下旬から12月初旬の日曜日に開催する予定です。日程、会場等については約1ヶ月前に案内状を発送します。多くの会員の参加を期待しています。

西日本支部 支部長 S41N 中野 正義

例年になく暑い夏で、お盆が過ぎても残暑が厳しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。今年も例年通り、支部総会を下関の「海峡ビューしものせき」において6月18日(土)に総勢14名にて開催致しました。西日本支部会員の方、90名に案内を出しましたが、返信は56名でした。本部の田中会長が昨年に続いて参加して下さいました。紙面を借りてお礼申し上げます。総会の冒頭、中野支部長より去る6月5日に東京にて開催されました本部総会での話、4月に開催された長崎帆船祭りの話をされ、又、田中会長からも総会での話をいただきました。その後、福岡元支部長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。顔ぶれも14名のうち12名は昨年と同じですが、3分間スピーチでこの1年間の出来事など話していただきました。特に初参加の永井さん(S47年E卒)は、ご自分の知人を通じて参加されている数名の先輩諸氏と繋がっていることがわかり、世間は狭いものだと思心されていました。21時で山下前支部長の一本締めで中締めし、場所を恒例301号室に替えて二次会が始まりました。三角さん(S32年E卒)は、所用があり帰宅されました。二次会は1時過ぎまでいろんな話で盛り上がりました。翌日は朝風呂に入り朝食の後、少し歓談して来年又会いましょうと約束して解散しました。その時、小生の同期の江尻君(S48年E卒)から、預かってきた米を参加者の皆さんにお渡ししました。彼は定年後、三重で米作りを始め、美味しい米で真珠米と名前をつけて販売をしているそうです。以前、会員投稿で掲載されているのを読んで彼も頑張っているなどと思い、声をかけたら試食ということで送ってくれました。

紙面をお借りして恐縮ですが、商船高専5校合同進学ガイダンスについて報告いたします。恒例になって今年で7回目と記憶しております。偶然に上記支部総会と重なっていましたが、支部長と相談し小生が応援に駆けつけました。午後1時から午後5時まで、広島駅近くのビルで開催されましたので、午後3時頃までいましたが生徒との会話はできませんでした。伊藤教官、片岡教官に挨拶して話したとき、いつも通り、此处は瀬戸内3校の牙城ですが、昨年は1名広島の中から鳥羽に入学された話を聞き、大変嬉しく思いました。今後も機会があれば応援していく所存であります。

最後に来年も6月に西日本支部同窓会を開催致しますので、ぜひご参加いただきますようお願い致します。岡山県の一部、広島、山口、島根、鳥取、四国、九州、沖縄の方、お待ちしております。

記述 西日本支部理事 神子 功 (S48年E卒)

クラス会

90期(高専4期生)同窓会 S50E 西山 明

卒業後40年を機に、戸田家に航海科、機関科の総勢41名が集まり同窓会を行いました。紅顔可憐な美少年だった同期生は、再会するなり「お前誰だった!」「誰だと思う?」とか「すぐに誰々君だと判った。」「変わらないな」と皆声が少し大きくなり、一瞬にして飛び跳ね、輝いていたあの頃にタイムスリップしていました。東北、関東、中部、関西の地域から皆よくぞこの母校の地につどってくれました。ありがとう。何より皆元気で、よくしゃべり、よく飲み、よく笑い、本当に楽しい会になりました。5年後の再会を期待して翌朝解散、同期諸君のご安航を祈る。



幹事:西山 明

参加者敬称略、航海科9名、機関科29名、奥様3名
伊藤 公男・村井 啓志・河野 則夫・谷 敦・山田 睦美・鈴木 三郎・磯部 亮・郡司 恵・富永 邦彦・山本 晴久・阪下 正人・伊藤 文治・佐野 実・中西 哲也・山本 雅拾・関口 亨・鷺巣 喜代志・岩田 愛一郎・庄司 陽二郎・中村 映・多度 博行・岡崎 吉則・杉岡 祥行・西山 明・関山 哲夫・中谷 久司・岡田 清実・周藤 莊一・服部 誠・早川 和良・原 衛・小栗 琢磨・竹原 靖志・堀江 茂・本田 光明・角野 充・田中 幸夫・丸島 慶久

S44年卒同窓会 大隅 克義

11月15日(日)、戸田屋においてS44年本科卒の同窓会(同期会)が催され、当日参集したのは同期のうち物故者を除いた約半数28名と、特別参加の奥方2名を加えた30名でした。当期はここ20年ほど5年に一度は鳥羽に集まっていたので、大方のメンバーの顔カチの変遷は把握しているのですが、中には卒業以来の約半世紀ぶりということもあり「あれっ、誰だったかな?」と思う向きもありました。しかしながら、数秒も経てば一気に半世紀を遡り、少年から青年への変貌を遂げ、また世の中が急速に変貌していったあの時代にワーブしてしまったのは私だけではないと思います。そんななかで今回最も感動したのは2名の同期生(65歳超)が外航船～海保巡視船～内航船と航り継ぎ、「船と海が好きだ!」という理由からいまだに現役船乗りを続けていることでした。ロマンを抱き続けるオトコは..美しい～♪カッコいい～♪俺らも頑張るぜエ～。。。11/15戸田家でのS44年本科卒同窓会(同期会)の様子の第2報です。集合写真の氏名(在住地)を記しておきます。



上段左から:内藤氏奥方、稲本 登志夫(静岡/伊東)、稲本氏奥方、平松 宗夫(鈴鹿)、森本 政二(三重/多気)、江崎 隆夫(鳥羽)、北川 宣雄(神戸)、飯野 実(横浜)、河口 善美(東京/葛飾)、内藤 邦雄(浜松)、太田 直昭(長野/下伊那)、梅森 茂(京都)、

中段左から:勝又 昭司(静岡/御殿場)、高橋 秀(仙台)、大隅 克義(横浜)、宗和 達功(神戸)、岩澤 達(愛知/安城)、濱田 恭通(三重/尾鷲)、森田 竹治(津)、宮崎 幸夫(伊勢)、小木曾 順務(岐阜/土岐)、下段左から:高橋 晴義(群馬/高崎)、堀尾 貞夫(名古屋)、春名 光敏(兵庫/たつの)、生川 恒夫(四日市)、山川 正昭(名古屋)、竹内 敏道(愛知/安城)、谷川 忠幸(東大阪)、川合 敏雄(鳥取/米子)。

東京/横浜/神戸・在住者等を除いては、ほとんどの者が生まれ育ったところに戻ったりして、彼らにとっての地元に在住しているようです。それにしても、東の仙台から西の米子まで、色んな所から入学してきたんだね。そして今回も遠路遙遠本当にご苦労様でした。しかしながら小生もしかりですが、何かに惹き付けられるように鳥羽に集まってきてしまいます。翌日に約10名ほどで懐かしの学校を訪ねました。我々の人生の中で、何かとても大事な時期を過ごしたよう思われて仕方のない寮は既に取り壊され、草生い茂る空地となっていました。しかしながらそこには、私の1年先輩の池田俊夫さんが昨 year 上梓された本の題名にもなっている「白菊の歌」が、確かに流れていました。

76期同期会開催について S34N 下川公一

2016.5.17~18、爽やかな風薫る新緑の5月、毎年恒例の同期会が、川井幹事ご夫妻のお世話により、皆、懐かしい思い出の地、横浜で、関東関西各地から夫婦で、単身で、土砂降りの雨の中20名集まり、されど恵み豊かに、中華街の宴会場に向かう頃から雨も上がり、同期全員後期高齢者以上の歳なるも、飲むは、食うは、カラオケは歌うは、まるで若返って話に花咲き、来年は柴山氏、野田氏、舩氏3幹事で木戸先生のおられる津で、開催を決定、最後は須貝氏たったの要望で、全員で“マドロスの恋”を大合唱、青春を謳歌し、中天に月、マリンタワーの輝く山下公園を散歩しながらホテルへ、直前に体調を崩し欠席された木戸先生に、又、先に逝った友、会えなかった友、奥様を亡くされた友に思いを馳せつつ眠りに!翌日は有志で東京はとバス観光を満喫、別れを惜しみつつも、再会を期して家路についた。



参加者(敬称略)川井幹事ご夫妻、石崎ご夫妻、神田ご夫妻、柴山ご夫妻、野田ご夫妻、関部、下川、細川、舩、長門谷、上野、猪野、須貝、河西、小嶋

鳥羽商船同窓会ホームページ

会員の投稿記事募集中

もっともっと盛り上げたいので、クラス会報告、会員の投稿、各支部からの報告をどしどしお寄せ下さい。



高専6期生・S52年卒生同窓会 黒崎雅彦

去る、7月2日(土)～3日(日)、梅雨明けの初夏の晴天下、鳥羽グランドホテルにて、高専6期生・昭和52年卒生の同窓会を開催いたしました。今年は、同窓生の多くが還暦を迎える年であるため、還暦記念として同窓会を開催しようということになり、愚生とE科卒の高木宏明さんが発起人として、同窓生へ呼びかけたところ、実に40名の参加者が各地より懐かしの地である鳥羽へ集結致しました。同窓生の中には、40年ぶりの再会となるものも多いなか、恩師である舟橋先生にもご臨席を賜り、時のたつのも忘れ昔話に花が咲き、旧交を温める事が出来ました。二次会では、最後に全員で校歌を斉唱し、4年後の再開を誓い合いました。今回の同窓会開催にあたり、連絡先の確認などご協力を頂いた皆さんには、この場をお借りして御礼申し上げます。



会員の活動紹介

第23回バレー部OB会を開催！

10月17日(土)に恒例の第23回目のバレー部OB会を開催しました。100周年記念館での総会のあと、現役の学生とのバーベキュー、交流試合を楽しみました。夜は天びん屋で懇親会を行い、楽しいひと時を過ごしました。これまであまり参加されていないバレー部OBの方、来年は一緒に汗を流しましょう！ 濱口かやの



真珠米

新米の美味しい季節である。同窓に定年退職後お百姓さんになり、こだわりのお米栽培をしている江尻さん(高専2期生)がいる。彼は5ヘクタールの土地でコシヒカリをつくる、そのお米のブランド名が真珠米である。命名は彼の同期横井氏である。彼の故郷大内山は、日本一の清流宮川の上流である。宮川は、三重県と奈良県の県境・大台ヶ原山(日出ヶ岳)を源流とし、数々の支流と合流しつつ伊勢湾へ注ぐ延長91kmの大河である。大内山川は宮川最大の支流で天然鮎やアマゴは特に美味で有名である。

彼のこだわりのお米とは、オーガニック(有機栽培)を目指したお米です。肥料は牛糞堆肥をベースにし、土中のEM菌を使用している。

EM菌は乳酸菌や酵母など人にも環境にもやさしい微生物たちの共生体の事らしいです。EM菌を使用すると病害虫に強いイネとなり美味しいお米になるそうです。(先日ノーベル

医学生理学賞を受賞した大村教授は、土中の微生物が分泌する天然化合物の研究実用化でした)

美味しいお米の判定に食味値がある。近赤外線分析器で4要素(アミロース・タンパク質・水分・脂肪酸)を測定分析し算出する。100点満点で高い数値程美味しいとされており、普通がBランク60～65点である。良好Aランクは70～80点それ以上は極めて良好、極上となっている。彼の作るコメは80点以上の極めて良好のランクに評価され賞を取ったこともあるそうです。彼を知る友人は学生時代には考えられなかった研究熱心さであると言う。(中略)美味しいお米を作っても売れなければ経営は成り立たない。彼は、お米栽培は上手いが売るのが下手くそである。彼の真っ黒に日焼けした顔を見ると応援したくなる。同窓の皆さん美味しく、安全なお米を食べてみませんか?そして彼にエールを送ってみませんか?

85期生 池田俊夫氏自費出版「海のロマンス」 (S43N)



昨年11月に池田俊夫氏が3年間の寮生活を綴った日記「白菊の歌」を自費出版した、その続編「海のロマンス」である。内容は機船「大成丸」と帆船「海王丸」の実習航海記である。表紙が実にいい。暁の海に椰子の葉陰から臨む帆船、憧れのハワイを思い浮かべる構図である。本を開くと、巻頭言に始まり最初に大成丸の写真と、船歌の名曲「海のロマンス」の歌詞が掲載されている。昭和43年春、本科を終えると専攻科だ、待ちに待った遠洋航海である。半年間の帆船と機船実習で帆船実習は航海科学生にとっては必修である。大航海時代を彷彿させる帆船は、近代化された船乗りの世界とはかけ離れた実習であると思われがちである。あの大時化の海、自然の脅威、力を合わせロープを引く、船そして自分や他人の命を守り、目的地に向かう、孤独、忍耐、そして疲れ果て泥のように眠り目覚めそして勉強する。その経験は今も変わらず重要であろう。あの頃の私達は、若さと希望に燃えていた。その反面将来に不安を抱きいろいろ悩んでいた。船での仕事についていけるのだろうか、父のような歳の人との人間関係、恋人は待っていてくれるのだろうか……等等など。そして6ヶ月間の社船実習を終え、遅く成長し学校に戻り国家試験に備える。そんな青春だった。最終章は、帆船の写真と誰もが歌える「練習船の歌」の歌詞が掲載されている。甲機同期生全員の写真も掲載されている。名前が全て分かる。私達の同期の多くは、既に海を離れ年金生活者となり、余生をゆったりと、散策や釣りで過ごしていることでしょう。

歩きながらふと口ずさむ歌は「練習船の歌」であり、磯釣りの竿の穂先から、沖行く船に目をやり口ずさむ歌は「海のロマンス」であろうか。♪～♪～♪♪♪ 夢よはかなき・♪・夢よはかなき・波まくら ♪～♪～♪♪♪ この本を送ってくれた同期生・航海科・池田俊夫君ありがとう。

同窓会費を払いにいきました 宮本恭夫 S57N卒 2016年5月31日(火)

家内とヨットで海外に行くための練習航海の途中、鳥羽に立ち寄り同窓会事務局を訪問しました。諸先輩方から激励と助言を頂き感謝の極みです。東京のサラリーマン生活とおさらばしてヨットの旅に出るまでの経緯と今後の航海の様子を下記ブログに纏めていますのでご興味のある方はご覧下さい。

<http://blog.livedoor.jp/penguinparade/>



佐藤要著 法螺吹き海月の航跡 のご紹介

S36年E科卒の同級生佐藤要(さとう かなめ)氏が自分史を執筆された。このほど、小生にこの本が贈呈されたのを機に拝読したところ、なかなかの力作で一気に呵成に読ませて頂いた。内容は、第1章 少年時代、第2章 マリンエンジニアの時代、第3章 サービスエンジニアの時代、第4章 ケミカルタンカーの計画・建造・修繕などの時代、第5章 旅の思い出、から構成されており、まさに商船学校時代から船乗りの生涯を網羅した貴重な作品である。NHK学園講師井上君江先生もその書評で『略…なんと海の男はたくましく、やさしく、ユーモアにあふれているのでしょう。荒波に洗われ、死の隣にありながらそれを冷静に乗り越え、そこでの楽しい出来事や新しい発見を書いてくださいました。またその技術力と知識を駆使し、巨大タンカーの建造と安全な運行のために力を尽くされました。まさに未知の世界、魅力的な海と船の世界なのです。…略…』と絶賛しておられます。この度、多くの同窓生にも読んで頂きたいとの思いから、江崎事務局長に相談し、著者の快諾を得て、同窓会事務局に置くこととしましたので、興味のある方は同窓会事務局にお問い合わせください。

なお、同本はNHK学園から発行されたのですが、現在では佐藤氏の手元にも予冊が無いそうで残念です。せっかくなので、第1章少年時代を小生が順次同窓会ホームページでご紹介することと致します。

(S36年N卒松浦肇・同窓会相談役)

**住所変更など個人情報に関わる情報は
同窓会ホームページに投稿しないよう
ご注意願います。**

同窓会ホームページは、会員に限らず多くの方が見る事が出来るので悪用される可能性がございます。投稿された場合、掲載を見合わせます。

会員の投稿

*紙面に限りがある為一部省略して掲載しています。
全文は同窓会HPを参照ください。

学友制回顧 S44 本科N卒 大隅 克義

同窓生皆さんの学生時代には、学友制度というものはありませんでしたでしょうか。私が鳥羽商船に入学した昭和41年当時はそのような制度がありました。(略)、新1年生が入寮して暫くしますと2年生が現れ、「俺がお前の学友となった。これからは俺がお前の面倒見る」と宣言されます。(略)学友先輩は後輩にいろんなことを教えてくれました。どこの世界でもおのずと決まり事がありますが、特に寮生活での注意点レクチャーにはとても助けられます。朝起きてからの点検のやり方。食事の際には当番先輩から「かかれ～」の号令が掛けられるまでは食べ始めてはいけません。先輩の顔と名前はイの一番に覚えて、特に外出時に会った時に失礼のないようにする(ちなみに制服姿の下級生は敬礼をするが、先輩はせいぜい頷くだけ)。夜9時には巡検があるので部屋の前に整列して宿直教官の検閲をうけること。トイレ掃除、浴場清掃、カッター掃除の仕方と注意点など等。それらの数々は一応の戦後民主主義学校教育と、親元でぬくぬくと過ごしてきた15歳の少年にはかなり厳しい生活環境の変化でした。まあ、その後の人生ではそれ以上の苦しいことや、理不尽なことがいくらでも降りかかってきますので、トレーニングとしては丁度良かったのかもしれません。もちろん、先輩も人夫々ですので、親身に教えてくれた者、ほったらかしの者もいたでしょうが、池田さんからは色んなことを教えてもらい、また、鳥羽の街にも連れて行ってもらう食事をご馳走になったりもしました。入学間もなくであらゆる面で心細い私には、本当に心強く感じられたのを思い出します。(略)

上記投稿への寄稿 大窪 齋 S54E卒

学友制度についてのご寄稿、感慨深く拝見いたしました。私が入学した昭和49年当時も、非公認のその制度は寮生のあいだに深く侵透しておりました。私がお世話になった「学友さん」も出身中学(静岡県御前崎中)の先輩が就いてくださり、寮生活にあたっての様々な指導をいただき、若干15歳で親元から遠く離れ、団体生活を始める身にとって心から頼れる存在でした。入寮と同時に手渡された紙切れには、①上級生に対する自己紹介の台詞、②学生規心(至誠一貫・率先敢闘・和親一致・責任完遂)、③船乗りのモットー(船乗りはスマートで目先が利いて几帳面、これぞ船乗り)、④鳥羽商船校創設者・創立年月日などがメモ書きされていて、この直後に行われる怖い3年生との対面式(大勢の上級生に囲まれるなか直立不動で行う自己紹介)や、「夜廻り」と称される深夜の歓迎儀式に備えて必死に語んじたことが想い起されました。さて、その学友制度ですが、我々の後輩にも引き継がれていったことは確かです。ただ、我々が2年生に進級する頃に寮制改革があり、新入生の相談役として指導学生(4年生のなかから任命)が置かれることになり、学友制度は本来の意味を失っていったと思われます。名ばかりとなった学友制度では

ありますが、私自身は3学年後輩(ひ孫)まで家系譜を辿ることができます。1年後輩には出身中学からの入学者がなかったのですが、その後は同窓が続き、孫、ひ孫と御前崎出身者で家系を引き継いでいただけました。

余談ではありますが……

今や上の学友さん、孫、ひ孫とも地元に着き生計を立てておりますが、卒業後の交遊は殆どありませんでした。ところが7年ほど前、上の学友さん(増田さん)とひ孫(森田君)と私の3人が中学のPTA役員を拝命することになり、鳥羽商船学友とその子息たち…の偶然の巡り合わせに驚くとともに、愉しく役員任期を全うすることができました。ちなみにPTA会長は森田君が務め、素晴らしいリーダーシップで運営していただきました。

三世代紀行・伊東温泉宿夜話 大隅 克義 S44N卒

※学友三世代紀行の夜話 一部のみ掲載します。

ヤキメシ坂 :皆さんご存知の寮から鳥羽の街へ抜ける道でございませう。元々からの伊勢から鳥羽志摩への街道だったとは思いますが、何故にヤキメシ・ネーミング???

三人とも由来が分かりませんでした。同窓生に限らず、どなたかご存知あればご教示あれ。

スラック(とヤキメシ坂) :伝統の夜遊び抜け寮行為であります。寮の周りを囲ってあった金網フェンス(当時)を乗り越えて出て行き、同様に乗り越えて帰ってきます。何故正面門扉からこっそり出入りしなかったのか。。。悪事はやっぱりコソコソとするのがお約束だったのか。。。また、私の言では「街まで20分~30分くらいかかりましたよね」と述べたところ、「いやいや、9時の点検が迫った時に近いほうのパチンコやなら10分15分で戻れた」=走ってかいな?と、おしゃっていた不良先輩の言のほう为正しいようです。

朝日座 :鳥羽にあった映画館。栈敷席みたいなのがあった記憶が。。。懐かしい。。。青木さんによると、もう1軒映画館があったらしい。鳥羽東映とか言ってたかな?

南海/七越/シルバー :街の洋食レストラン。休日お小遣い



に余裕があれば外食をしました。今の価格に直せば1000~1500円程度の定食を食すのが常でしたが、当時のみんなの(私の)最高の贅沢。南海は担任教官の婿入り先ということもあり、何かサービスが付いていた記憶があり私は良く行きました。

ハナシは変わらないようでも変わりますが、七越や南海のことを先輩たちと話していたら、小生が5年生当時、そこでウエイレスをしていた同年輩の女の子が、来月にはお店を辞めて海女になると聞いた時にとてもショックを受けたのを思い出しました。何がということもないのですが、おそらく彼女に若干の好意を抱いていたのと、それまでに対面したことのない、どうにも変えられない運命宿命みたいなものを目の当たりにした、たじろぎだったのでしょ。彼女の実家は答志島か菅島で、女と生まれたからには家業の海女さんを継いでいくのが決まり事のようなものでした。当時はなおさらアップだった19歳ボーイは、そんなことを聞いても、結局のところ気の効いたことの一つも言えず、何も伝えられませんでした。携帯電話もメールもラインもフェイスブックも、はたまた家電話すら無かった時代のそれっきは、本当にそれっきりでした。

海月/なかせこ(中世古?) :

これも休日に入入りした喫茶店。

前者は旅館業が本業の海月の、当時アラサー前くらいで若女将風の方がママさんとして仕切っていました。特に話して相手をしてもらえるわけではありませんでしたが、私は彼女のファンでありました。時代が移って、池田さんの代の同期会を数年前に海月で催したら、その際に20代らしき若女将が居たそうです。そして後から皆の撮った写真を見たら、多くが彼女とのツーショットだったり、彼女を中心に据えたグループ写真だった由。年齢間隔からしてどうも私がファンだったママさんの孫娘のようです。「少年老い易く学成り難し」=少し意味は違うけど…自分も同様ですが…歳を取るのは早いけど、やることは変わらず、(学)人格はなかなか成就せず。されど、男のス〇〇心の泉は枯れずですね(笑)

後者は船舶衛生のエ〇医教官(三人ともどうしても名前が思い出せず失礼な表記になってしまいますが…どうも佐藤教官という人だったらしい。。。)の奥さん?彼女?が営んでいた喫茶店。今にして思えば妙齢のマダムだったのだろうが、当時の私には誠に失礼な話しずいぶんオバサンに見えました。鳥羽では広めの店内で、やはりオバサンに見受けられた女店員も何人か居たような記憶が。いまどきであれば、いうところのアラサーはおろかアラフォー・アラヒイフでもお綺麗な一般人が数多く存在していますが、当時は一般的に三十路を過ぎたらかなりオバサンに見られていたと思いますし、そんな年代の方々達にもなにかしらの諦観もあったのだと思います。かなり前に死語となってしまった、オールドミスなんて差別用語もあったくらいですからね。そんなこんなでしたが、「なかせこ」は年上女性がいざとオマケのサービス品を付けてくれたか、値段的な配慮があったかで、商船学校生にはずいぶん優しい覚えがあります。

〈略〉

旧寮／新校舎 :昭和41年4月に小生入学した時点では前者はなく、新校舎にて授業を受けました。2年前に入学した青木さんによれば旧寮建屋というのが残存していて、旧校舎取り壊しから新校舎完成までの端境期はそこで授業を受けたとのこと。1年前の池田さんの代も一時は旧寮での授業だったそうです。そこには伊勢湾台風の爪跡痕跡もあり、ここまで浸水したのだという色変わり部分もあったとか。今にも倒れそうで、台風到来時には皆でロープを引っ張って支えたなんて逸話を青木さんは話していましたが、ホンマでっかいな。

古い古いハナシの新校舎、私達は(新)校舎など言っていますが、当時からすでに50年以上も経っていますので、同時期に建てられた商船学校初の体育館も含めて今でもあるのかいな???

戻りてえなー 2016-6-7

伊勢市河崎の商人館で絵手紙展をやっていました。そこで目を引いたのがこの一枚。「戻りてえなー」とありました。年老いた夫婦が遠い昔に戻りたいな———と思っているのでしょうか。いつまでも仲が良くうらやましい限りです。彼女の肩にそっと手をやっている袖口には3つボタン、ン、もしかしたら?



第46回戦没・殉職船員追悼式 参列 伊勢の人

5月12日(木)横須賀の観音崎公園「戦没船員の碑」に於いて、戦没船員と戦後の殉職船員の御霊の鎮魂と平和な海の実現を祈念し、追悼式が執り行われました。戦争で六万余人の尊い船員の命が犠牲となり、破壊された船舶は商船だけで二千五百隻、八百五十万総トンにも達したそうです。昭和46年に戦没船員の霊を慰め、永遠の平和を祈念する「戦没船員の碑」が建立されました。碑文に「安らかにねむれ わが友よ 波静かなれ とこしえに」とあります。昭和56年には(財)日本殉職船員顕彰会が設立され、戦後の海難や労働災害で殉職された船員も奉安されるようになり、現在は2968名奉安されています。多くの鳥羽商船同窓生が戦没・殉職船員として奉安されています。私の友達も殉職船員として奉安されています。安らかにねむれわが友よ。



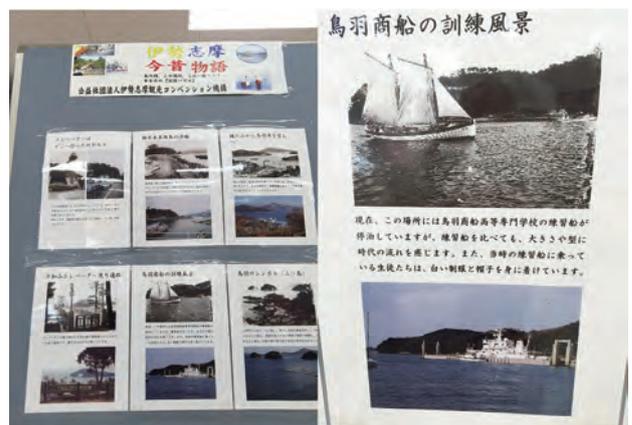
伊勢志摩今昔物語 伊勢の人 2016-7-14

伊勢市にある新ジャスで(公)伊勢志摩観光コンベンション機構が写真展「伊勢志摩今昔物語」を開いていました。伊勢、二見、鳥羽等の昔と今を比較した写真展です。その中に「鳥羽商船の訓練風景」がありました。カッターでの帆走訓練、懐かしいですね。写真展の記事、ン——ン、カッターは練習船とは違うんですけど!

鳥羽の写真では、他に日和山エレベーターとか樋の山からの写真とかがありました。

帆船「日本丸」久里浜港へ

10月18日日本丸の一般公開を見学に行ってきました。横須賀港開港150周年記念のイベントです。大盛況でした。弓削商船の学生以外の実習だとかで、10月1日に乗り組んだそうです。鳥羽商船の学生だけは昔と同じ制服ですというので直ぐ判りました。実習員は弓削商船以外の4校でデッキ86名エンジン22名とのことでした。その中で鳥羽商船の男子実習員は昔ながらの三つボタンの制服なので一目で判断できます。他の学校の制服はブレザーです。帆船での航海実習、いいですね。



事務局だより

以下の記事は同窓会ホームページに記載されたものです。

2015年10月07日(水) 同窓会報 発送

事務局理事と伊勢志摩支部の有志10名にて、3700通余りの封筒入れ作業を行いました。朝10時から夕方16時までかかり、無事郵送することができました。昨日・本日には皆様のお手元に届いている頃だと思います。
発送した会報ですが、毎年100通余りの住所不明の方がおり、こちらに戻って来ます。住所変更がありましたら事務局までご連絡下さい。



2015年11月18日(水) 攻玉社 母校訪問

11月16日 母校の兄弟校である、東京の攻玉社高等学校1年生242名と教頭の山崎先生をはじめとする先生方12名が母校を訪問されました。攻玉社学園4年生(高校1年)は毎年の修学旅行で母校訪問をスケジュールに組み込んでおられます。この後奈良に2泊、京都に2泊の計4泊5日の行程です。攻玉社学園と鳥羽商船高専の校祖である、近藤真琴翁の史跡を胸に刻んで帰られることでしょう。
今年は、9月中旬の台風被害により、100周年記念館の2階の資料室を見て頂く事はできませんでしたが、早急の修復を母校にお願い致します。



2015年11月24日(火) 「文藝春秋」母校に関するルポ記事

文藝春秋今月号352Pから「地方企業を支える高専の底力」というルポ記事が掲載されています。
この中に母校制御情報科の紹介記事も書かれています。皆様にご紹介致します。



2015年11月24日(火) 近藤真琴翁の新資料発見記事

11月19日毎日新聞に近藤真琴翁の新資料発見記事が掲載されました。
元母校教官(現非常勤講師)で故郷の海を愛する会会員の水野逸夫さんは以前より近藤真琴翁の研究をされており、今回近藤真琴翁の資料調査中に直筆の手紙を発見されました。鳥羽近辺在住の研究者らと共に調査された記事が紹介されました。近藤真琴翁の違う一面を知る貴重な資料です。



2015年12月02日(水) 外国語ボランティア募集

来年5月末に伊勢志摩サミットが賢島で開催されます。三重県ではこの会議に外国語ボランティアを募集しています。募集人員は200名ですが、協力したいと思われる方がみえましたら下記リンク先より応募して下さい。

一生に一度の体験になると思います。

締め切りは12月10日

伊勢志摩サミット外国語案内ボランティアを募集します。

2016年03月18日(金) 母校 卒業式

3月13日(日)小春日和の中、工業系(電子機械工学科24名、制御情報工学科37名)、専攻科(生産システム学専攻9名)が期待に胸膨らませ卒業されました。M科(電子機械工学)は進学5名、就職19名、I科(制御情報工学)は進学9名、就職28名、専攻科は進学1名、就職8名で100%の進路が決定しました。

おめでとうございます。式は新田校長、鳥羽市木田市長、室同窓会副会長(田中会長代理)の祝辞の後、校長から卒業生全員に卒業証書が手渡されました。又、卒業式の後には卒業謝恩パーティーが体育館で催され、恩師と卒業生、父兄の皆様との団欒と各所で記念撮影が行われていました。同窓会伊勢志摩支部約10名もこのパーティーに参加し、同窓会への入会を歓迎すると共に、同窓会費の集金と連絡先住所の聞き取りを行いました。このパーティーの最後は、三井伊勢志摩支部長の万歳三唱で締めくくられました。

70名の新入会員の皆様、ようこそ鳥羽商船同窓会へ。



2016年04月09日(土) 鳥羽かどや塾で近藤真琴翁の話

4月24日 鳥羽大庄屋かどやに於いて、同窓の塩野明俊さんが「鳥羽偉人伝 近藤真琴 考」というテーマでお話をされます。

かどやの当主 広野家のご先祖は近藤真琴翁が明治14年、鳥羽に商船校を開校された際、多額のご寄付をされたこと記録に残っています。お時間のある方は、ぜひご参加お願い致します。

第30回かどや塾
「鳥羽偉人伝:近藤 真琴 考」

鳥羽塾士の近藤真琴(1831~1886)は、明治8年に日本初の商船学校となる新海商船学校を東京・芝に設立し、明治14年には鳥羽商船高等専門学校の前身を鳥羽に設置しました。船隻検査や新島藩などと並び称される明治六大教育者の一人に数えられており、国学者としても先駆者のひとりに数えられる業績を残すなど、様々な分野で顕著な活躍をしています。

そこで、鳥羽が生んだ逸材・近藤真琴の生涯について、鳥羽商船学校の卒業生である塩野さんにご紹介いただくことになりました。

是非、お聞き逃しなく!!!



記

日時: 4月24日(日) 13:30~15:00
場所: 鳥羽大庄屋かどや 0599-25-8686
鳥羽市鳥羽 4-3-24 駐車場あり
講師: 塩野 明俊さん

以上

2016年04月14日(木) 全会員に総会案内発送

4月14日東京総会の案内と出欠ハガキを全会員に発送致しました。伊勢志摩支部の皆様10名が和気あいあいの中、話に夢中になりながら、封筒入れ作業3814名分の作業を終えました。

毎回住所不明で返送される封筒が有ります。転居されました方は本部事務局までご連絡宜しくお願いします。

※今年の総会は6月5日(日)東京有楽町 日本外国人特派員協会です。皆様のご参加をお待ちしています。



2016年06月01日(水) NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演

NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に伊勢三河湾水先人会のパイロット(水先人)で同窓生であるS40N 井上道彦さんが出演します。ぜひご覧ください。

巨大港スペシャル 日本の経済を支えるプロたち ~密着名古屋港~
放送局 :NHK総合(地デジ)

番組名 :「プロフェッショナル 仕事の流儀」

放送日時 :6月6日 19:30~20:43

取材対象 :伊勢三河湾水先人及び水先業務(25分程)を含み、名古屋港の仕事人の流儀

取材対象者:水先人としては、井上道彦さん

2016年07月01日(金)
練習船鳥羽丸Facebook紹介

母校練習船鳥羽丸のFacebookページをご紹介させていただきます。商船学科の学生が奮闘する実習風景や鳥羽丸の情報が公開されています。ぜひご覧下さい。

練習船鳥羽丸Facebook
<https://www.facebook.com/tobamaru.jp>

2016年07月26日(火)
**100周年記念館改修工事により同窓会
 事務室が10月末まで移転します。**

暑中お見舞い申し上げます。
 100周年記念館竣工後37年を経過し、大幅な改修工事を実施することになりました。同窓会が借用中の事務室も工事の為、10月末まで2号館3階に移転いたします。ご不便をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。
 電話番号は従来の番号0599-25-8045、ファックス0599-25-8128です。
 今回事務局の携帯を新規契約いたしました。番号は090-7612-2979です。
 これから暑い夏がやってきます。皆様におかれましても体調管理に充分ご留意なされますようお願い致します。

2016年09月05日(月)
校祖 近藤真琴翁 没後130年 記念碑 清掃

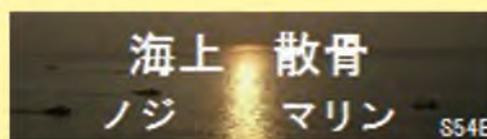
1886年(明治19年)9月4日 校祖近藤翁が亡くなりました。毎年春と秋に近藤翁の記念碑周辺を草刈、清掃していますが、今年9月2日に同窓会有志7名で草刈を実施致しました。本年総会において没後130年を記念して鳥羽の3偉人の1人近藤翁の業績を近隣市民に知ってもらおう活動が承認されました。来春鳥羽の市民劇団が近藤翁をテーマにした芝居の上演を企画しています。
 皆様楽しみにしていて下さい。



バナー広告ご協賛企業

ホームページ
**スポンサー
 募集中!!**

ホームページのスポンサーを募集しています。詳しくは事務局までお問合せください。



アクセス上昇中!! 鳥羽商船同窓会 ホームページ
<http://tobashusen-dousoukai.com>

編集後記

昨年今年と異常気象と言われた事象が日常当たり前のように発生する時代になってきました。皆様におかれましてもご自分で対処できることは日頃から充分ご留意されることを祈念いたします。昨年9月中旬に被害を受けた母校100周年記念館の補修工事が始まっています。この記念館も築38年を経て補修と共に部屋の改装工事も同時に行っています。工事期間中は同窓会事務局を2号館3階に移転していますが10月末には元の100周年記念館1階に戻ります。

事務局からのお願い

☆同窓会では会員名簿、同窓会報、同窓会HPを通じて、本校の状況、会員の社会での活躍状況や、会員の近況、活動等を皆さんにお知らせしています。そしてこれらの記事から、同期、先輩後輩の事を思い浮かべ、学友のがんばりに感じ入り、又は懐かしみ、時としてこれらが心の糧になっているのではないかと思います。しかしながら残念なことに、同窓会会報を発送しても宛先不明で多数の会報が返送されてきます。会員の皆さん、転居、勤務先など変更ある場合にはぜひ事務局までご連絡して下さいますようお願いいたします。また同窓の友人でこの会報が届いていない方が見えたら事務局にご一報をお願いいたします。個人情報にかかる事でありますので、名簿等への掲載の可否も合わせて連絡をして頂きますようお願いいたします。

☆同窓会HPの閲覧や投稿をお願いします。

☆同窓会は多くの同窓生の会費により会設立90年を経過してなお健全に運営されています。事務局にての仕事を手伝うようになり、本校卒業生の「想い・心意気」を強く感じる事が多々あります。特にご遺族となられた奥様等から寄付の申し出をお受けしたときなどです。有りがたいと思うと同時に「この人もやっぱり学校が忘れられなかったんやなー」と思わず感じ入ってしまいます。皆様、会費の納入にご協力ください。(会計 西山 S50E)

☆同窓会HPへのバナー広告掲載をお願いします。

会員皆さんの会社をHPでバナー広告としてPRしませんか。広告料は年間3万円からです。年度途中からの掲載は月割りとなります。是非とも掲載をお願いします。

同窓会事務局のボランティア募集

同窓会事務局は、現在も少人数の有志でこの会の運営を行っています。本校近隣に在住の同窓会員の皆様、事務局の運営にご協力をお願いします。

事務局では、同窓会総会の準備、会費管理、卒業式に伴う会員の入会勧誘と手続き、学生支援、会員名簿の改訂発行、同窓会報の作成と発送等年間を通しての事務関係の作業を会員有志の奉仕で行っています。同窓会の継続的な運営の為には、事務局の老齢化の対策も考慮しなければなりません。そのためには事務局に予備を含めて10名程度の員数の有ることが必要です。「物は試しで結構です」事務局の運営に参加協力をお願いします。現在は、5名の協力者を求めます。期間限定でも良いですので行動力のある方は是非とも事務局に連絡をお願いします。

☆NPO法人故郷の海を愛する会の活動など子供たち参加のイベントもあり、楽しいですよ。こちらでも会員の募集をしています。

事務局 江崎隆夫(S44E)、西山明(S50E)

会員の移動等

(平成28年5月現在)

	卒業生	現会員	(現会員数内訳)		死亡	小計
			支部所属	支部不明		
N科	2,565	1,430	1,182	248	1,135	2,565
E科	2,738	1,708	1,373	335	1,030	2,738
M科	863	859	644	215	4	863
I科	849	849	662	187	0	849
合計	7,015	4,846	3,861	985	2,169	7,015

*特別会員は現会員数に含まれる。

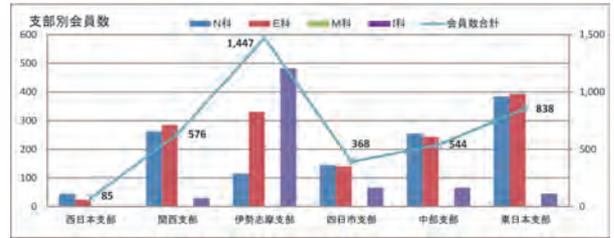
新入会員 (平成28年5月現在) *商船科は昨年度の卒業生です。 準会員 (平成28年5月現在)

S科Nコース	S科Eコース	M科	I科	合計	S科Nコース	S科Eコース	S科コース	M科	I科	合計	海事システム学	生産システム学	合計
20名	13名	24名	37名	94名	53名	67名	84名	214名	211名	629名	5名	18名	23名

注記:S科(商船学科)について 入学のときはコースを問わず、商船科に入学します。航海コースにするか機関コースにするかは、2年の終わる時に決めます。よって、上記準会員の本科生は2年生まではS科で、3年生からはS科Nコース、S科Eコースとして報告しています。

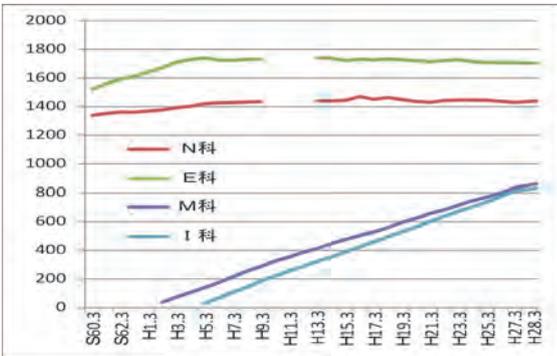
鳥羽商船同窓会 会員数・支部会員数

	西日本支部	関西支部	伊勢志摩支部	四日市支部	中部支部	東日本支部	合計
N科	55	259	109	135	245	378	1,181
E科	26	273	325	127	231	390	1,372
M科	1	16	535	39	24	28	643
I科	3	28	478	67	44	42	662
会員数合計	85	576	1,447	368	544	838	3,858

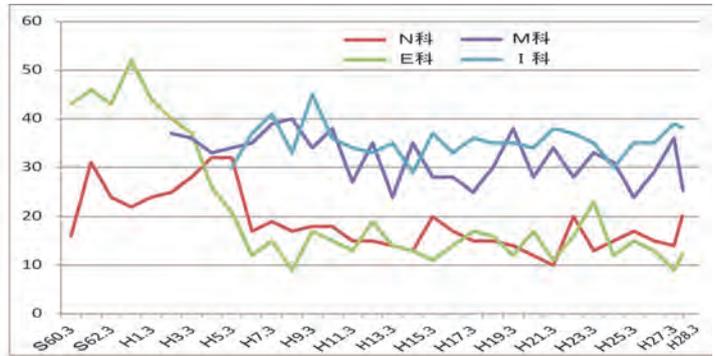


会員数の変化

会員数

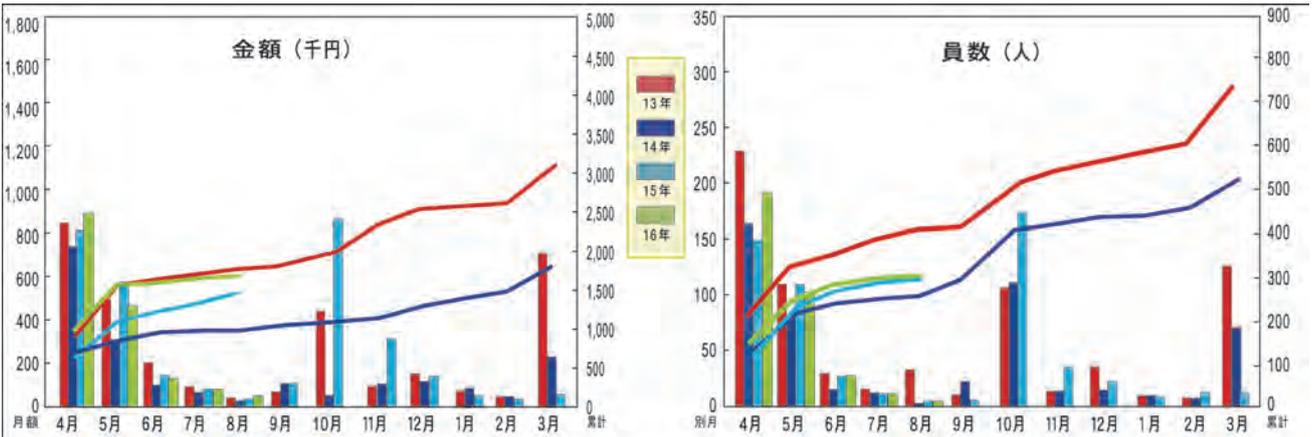


新入会員数



月別会費納入状況

会費納入実績では4月と10月にピークがあります。これは総会の案内と会報の送付の時期に重なります。



同窓会ホームページ <http://tobashusen-dousoukai.com/>

学生募集
の
PR依頼

少子化の時代を迎え、義務教育以外の学校は皆、学生の確保に躍起になっています。特に大学は学生の全入学時代に突入し、一段と厳しさを増しています。将来に向け予断は許されず、学校としても学生募集のPRに励んでいます。

つきましては、より優秀な学生に入学していただくため同総会員の御協力を仰ぎたい所存です。学校に御連絡いただければ、A2版ポスター・学校案内冊子・学生募集要項をお送りしますので、下記宛に御連絡いただきますよう、よろしく申し上げます。

独立行政法人
国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 電話(0599)25-8404

ホームページアドレス <http://www.toba-cmt.ac.jp/> E-mail gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp

◎書類請求（無料）は本校の学生課入試・支援係へ